指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書第53集

指宿駅西部土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Vol.1

Hashimuregawa-Site

橋牟礼川遺跡

2014年3月
指宿市教育委員会

例　言

1．本書は、平成３年１月10日から同年３月29日及び同年６月７日から同年11月30日まで実施した鹿児島県指宿市に所在する橋牟礼川遺跡の発掘調査報告書である。

2．発掘調査は、昭和61年度から平成３年度にかけて指宿駅西部土地区画整理事業に伴い実施された。本報告書は、上記期間に行った支線道路部分の発掘調査の成果をまとめたものである。

3．発掘調査は、指宿市教育委員会で実施した。調査は下山　覚、渡部徹也が担当した。報告書作成は、渡部徹也が担当した。

報告書作成の組織は以下のとおりである。

報告書作成主体	指宿市教育委員会		
報告書作成責任者	指宿市教育委員会	教　育　長	池田　昭夫
報告書作成担当組織員	指宿市教育委員会	教　育　部　長	濵田　悟
		社会教育課長	満石　知
		社会教育係主幹	坂上　次喜
		社会教育課主幹	片野田　清
		社会教育係主査	山脇　倫人
		社会教育係主査	東屋敷　勝
		社会教育係主査	奥村　光郎
		社会教育係主査	上川路隆介
		社会教育係主事	桐原　愛
		文化係主幹	福ヶ迫　忠
		文化係参事補	渡部　徹也
		文化係主査	鎌田　洋昭
		同　上	園田　哲士
		文化係主事	惠島　瑛子

整理作業員　清　秀子、竹下珠代、鎌田真由美、境　由希

4．本書の編集、図面作成、写真撮影は、整理作業員の協力を得ながら渡部徹也が行った。

5．図中に用いられている座標値は、国土座標系第Ⅱ系に準ずる。

6．遺物観察表、遺物実測図、遺構図の表記凡例は、『橋牟礼川遺跡Ⅲ』(1992、指宿市教育委員会)と『水迫遺跡Ⅰ』(2000、指宿市教育委員会)に準ずる。観察表の特殊な表記については下記のとおりである。

土器の混和材【カ:角閃石、セ:石英、ウ:雲母、金:金雲母、白:白色粒、黒:黒色粒、赤:赤色粒】

土器部位・法量【口:口縁部、口縁部径、肩:肩部、肩部最大径、胴:胴部、胴部最大径、底:底部、底部径】

調整【内:内面、外:外面、口唇:口唇部、突:突帯部、底:底面、脚内:脚台内面、脚端:脚台接地面】

色調【内:内面、外:外面、肉:器肉】※遺物のマンセル値は、土色計SCR-1を使用し測色した。

観察表及び出土遺物台帳中のＡ～Ｆの表記は、土器集中廃棄所の区割を示す。

7．発掘調査で得た全ての成果については、指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯはしむれで保管し活用している。

目　次

第１章　遺跡の立地と環境……1
第２章　調査に至る経緯と調査の概要……2
　第１節　調査に至る経緯……2
　第２節　調査の概要……2
第３章　発掘調査……4
　第１節　層序……4
　第２節　調査区の区割りについて……10
　第３節　中世の遺構群について……10
　第４節　奈良~平安時代の遺構群について……11
　（１）874年３月25日に埋没した畠地……11
　　①畝について……11
　　②ピット及び畝端部の凹みについて……11
　　③小石集積遺構について……13
　　④構列跡について……14
　　⑤道跡について……18
　　⑥高床式倉庫跡について……20
　（２）貝塚について……22
　　①貝塚A……22
　　②貝塚B……22
　第５節　古墳時代の遺構群について……25
　（１）土器集中廃棄所……25
　　①壺形土器と長頸壺の出土について……25
　　②土器集中廃棄所の状況について……27
　　③溝状遺構について……28
　（２）貝塚について……28
　　①貝塚C……28
　　②貝塚D……28
　　③貝塚E……28
　　④貝塚F……28
　第６節　遺物について……33
　（１）６層出土遺物……33
　（２）８層出土遺物……33
　（３）９層出土遺物……33
　観察表……63
　遺物台帳……71
第４章　調査成果……87
　第１節　874年３月25日の畠地と火山災害について……87
　第２節　古墳時代の遺構群と台付長頸壺を巡る諸問題について……88
写真図版……89

第１章　遺跡の立地と環境

指宿市は、九州本土の薩摩半島南端に位置し、地形的には平野・山地・台地・湖沼と大きく４つの地域に区分することができる。中でも、九州最大のカルデラ湖である池田湖は、約5,700年前に活動し、その噴出物は指宿地方の大きな地形形成要因となっている。

池田湖の噴出物は橋牟礼川遺跡付近で火砕流堆積物が主となって、５～15mの厚さで堆積する。また、市の南西に位置する開聞岳は、有史以来、「日本三代実録」などに活動記録があり、降下した噴出物は非常に固く固結する特性をもち、広くこの地方を覆っている。

開聞岳を給源とするテフラは、縄文時代後期・縄文時代晩期・弥生時代中期～後期・７世紀後半・874年３月25日（貞観16年３月４日）・885年のものなどがあり、橋牟礼川遺跡では、縄文時代晩期・885年のテフラは希薄である。

開聞岳と橋牟礼川遺跡の直線距離は概ね10kmで、それぞれの時代のテフラは降下時点では冷えており、熱を持たなかったと考えられている。また、それぞれの時代の噴出物については、当時の風向などに影響されたと考えられ、指宿市内においても層厚の差違がある。橋牟礼川遺跡付近では、例えば、縄文時代後期の噴出物は、15cm程度、弥生時代

図１　遺跡位置図１

中期～後期の噴出物は０～５cm程度である。また、７世紀後半の噴出物は15～20cm程度で、874年の火山灰は30cm～50cm程度である。

国指定史跡橋牟礼川遺跡は、池田湖や開聞岳の火山噴出物や、それらの２次堆積層上に立地し、山裾から海岸へ傾斜する海抜７～20m程度のゆるやかな火山性扇状地上に形成されている。

第２章　調査に至る経緯と調査の概要

第１節　調査に至る経緯

橋牟礼川遺跡は、大正７、８年、京都帝国大学による発掘調査が行われ、縄文土器が弥生土器よりも古い時代のものであることが国内で初めて実証された遺跡として知られる。大正13年には、国指定史跡に指定され、昭和53年には、史跡保存のための236haの公有地化が完了した。

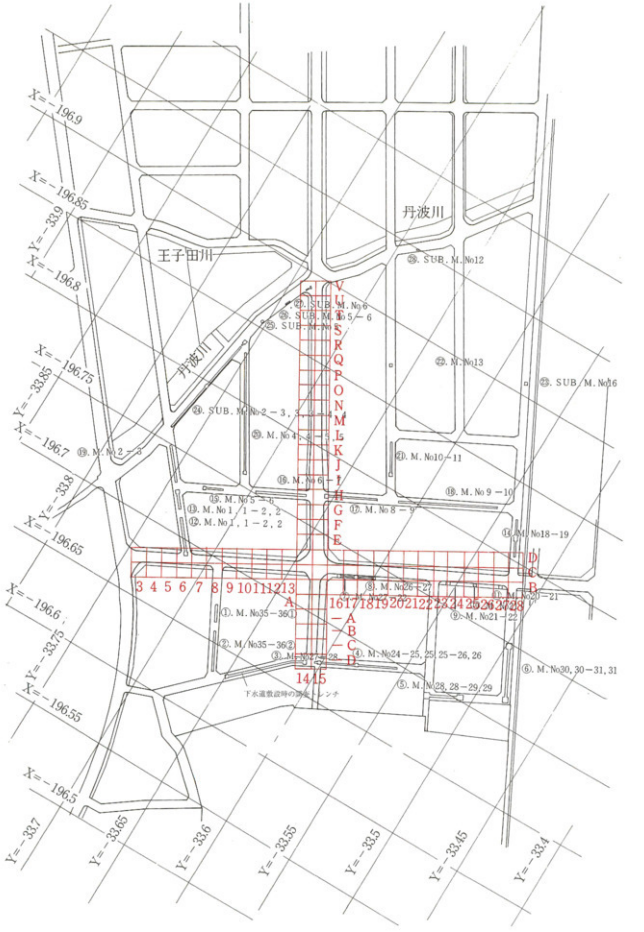
国指定史跡に隣接する北西側の土地からJR指宿駅付近に至る範囲まで土地区画整理事業が行われることとなり、昭和61年度から平成３年度まで、1.5m以上の掘削を伴う道路部分と下水道が敷設される部分について年次的に事前に発掘調査が行われることとなった。

平成３年度は、図３に示した支線道路（通称10-１線）部分について、発掘調査を実施した。

第２節　調査の概要

調査は道路及び側溝敷設に伴い掘削が及ぶ部分の358㎡について行った。調査の結果、中世のピット、874年の開聞岳噴火によって埋没した畠、高床式倉庫跡、道跡、柵列跡等の遺構、古墳時代の溝状遺構、土器集中廃棄所、貝塚等が検出された。874年の畠地遺構群については、その重要性から道路敷設工法の変更により遺構を破壊しない形で保存することとなった。そのため、古墳時代遺構面の調査は調査区南側の一部に留まっている。

図２　遺跡位置図２



丹波川
王子田川
丹波川
X=−196.9
X=−196.85
X=−196.8
X=−196.75
X=−196.7
X=−196.65
X=−196.6
X=−196.55
X=−196.5
Y=−33.9
Y=−33.85
Y=−33.8
Y=−33.75
Y=−33.7
Y=−33.65
Y=−33.6
Y=−33.55
Y=−33.5
Y=−33.45
Y=−33.4
㉘. SUB. M. No12
㉗. SUB. M. No6
㉘. SUB. M. No5−6
㉕. SUB. M. No5
㉒. M. No13
㉓. SUB. M. No16
㉔. SUB. M. No2−3, 3−4
㉙. M. No4, 4−5
㉑. M. No10−11
⑲. M. No2−3
⑯. M. No6−7
⑱. M. No9−10
⑮. M. No5−6
⑰. M. No8−9
⑬. M. No1, 1−2, 2
⑫. M. No1, 1−2, 2
⑭. M. No18−19
⑧. M. No26−27
⑩. M. No20−21
⑨. M. No21−22
①. M. No35−36①
②. M. No35−36②
③. M. No27−28
④. M. No24−25, 25−26, 26
⑥. M. No30, 30−31, 31
⑤. M. No28, 28−29, 29
下水道敷設時の調査トレンチ

図3　調査区区割り図

図４
橋牟礼川遺跡
層位模式柱状図

第３章　発掘調査

第１節　層序

橋牟礼川遺跡の基本層序は下記のとおりである。

第１層　黒褐色土層(表土)　旧耕作地である。現代の層である。

第２層　暗灰色土層　近代～現代に至る遺物が包含されている。旧耕作土でもある。

第３層　黒灰色土層　近世～近代に至る遺物が包含されている。旧耕作土でもある。

第４層　黒色土層　中世(鎌倉～室町時代)の遺物包含層。黒ボクのように腐植土が発達している。厚さは20～50cm前後で、宋代の青磁や白磁、回転糸切り底の土師器などが検出される。

第５層ａ　紫灰色火山灰層(紫コラ)　平安時代開聞岳噴出物堆積層で、フォール・ユニットを形成する。第５層ｃと一連の噴火による噴出物とする考えがある。

第５層ｂ　紫灰色火山灰二次堆積物　第５層ｃ(874年開聞岳噴出物)の二次堆積層で、水流作用で生成されたものと考えられ砂が多く混在し、ラミナが発達する。

第５層ｃ　紫灰色火山灰層(紫コラ)　874年の開聞岳噴火に伴う噴出物堆積層に比定されている。極めて固く固結し、フォール・ユニットが認められる。

第６層ａ～ｃ　暗オリーブ褐色土層　奈良～平安時代の遺物包含層で、その上面は874年の開聞岳噴出物で被覆されており、火山噴出物降下直前の旧地表形状をそのまま留めている。第６層は腐植化が進行しているａ、ａに比べ明るいオリーブ褐色を呈するｂ、ｃは第７層の二次堆積層と３層に分層が可能である。

第７層　青灰色固結火山灰層(青コラ)　７世紀最終四半世紀頃に比定される開聞岳噴出物堆積層で、下部は火山活動初期のスコリアが２～５cm程度堆積する。

第８層　橙色土層　砂や池田湖起源の噴出物、軽石を含む扇状地堆積層。古墳時代末頃の土石流堆積物と考えられる。

第９層　暗褐色土層　古墳時代の遺物包含層である。小礫や池田湖降下軽石を含みやや粘質である。厚さは50cm～１ｍ程度である。第９層の中位から遺構が掘り込まれる場合などは、埋土色調、粒度から判別することが難しい。第９層の形成は、基本的に扇状地堆積物であるが、集落形成等の土地利用による攪乱や河川の氾濫による要因が複合していると考えられる。

第10層　赤橙褐色粘質土層　弥生中～後期の遺物包含層で、扇状地堆積物と考えられる。

第11層　暗紫色火山灰層(暗紫コラ)　弥生中～後期に降下した開聞岳噴出物堆積層。

第12層　明褐色土層　弥生時代前～中期にかけての遺物包含層で粘性が強い。

第13層　暗褐色小石混シルト質土層　主に刻目突帯文土器を包含する層で小礫を含む。

第14層　赤褐色小石混シルト質土層　主に縄文晩期の遺物を含む。黒川式土器が主体。

第15層　赤褐色砂粒混シルト質土層　主に縄文晩期の遺物を含むが、後期の遺物も混在。

第16層　黒褐色橙色パミス混シルト質土層　主に縄文後～晩期の遺物を含む。

第17層　暗青灰色火山灰層(黄コラ)　縄文後期の開聞岳噴出物堆積層。

第18層　灰褐色砂質土層　縄文後期遺物包含層で下部は池田湖火山灰に変化する。

第19層　池田湖火山灰層　灰色～黄灰色を呈する層で、約5,700年前の池田カルデラ形成期の火山活動に伴い堆積したものと考えられている。

指宿市教育委員会「第Ⅳ章　遺跡の層序」「橋牟礼川遺跡Ⅲ」を抜粋、一部改変。

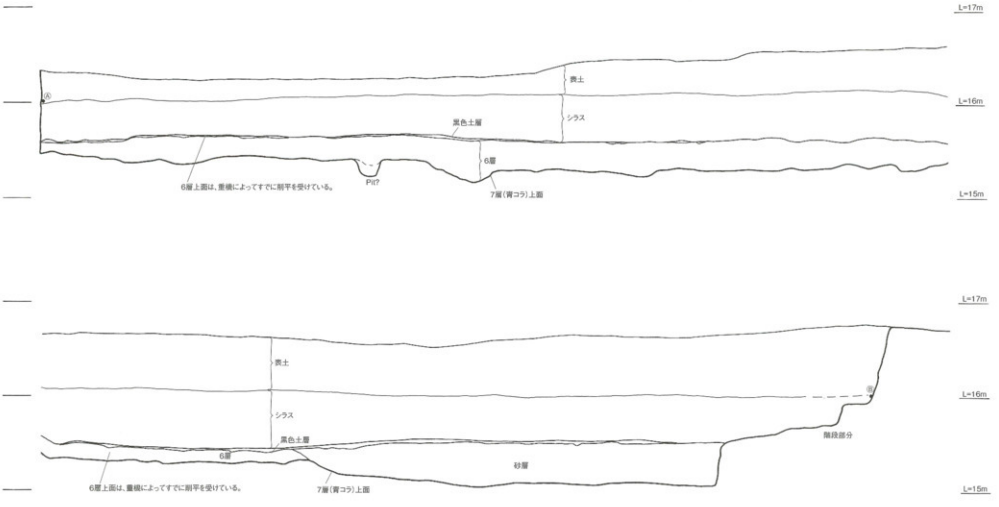


図５　側溝調査区東壁層位断面図1

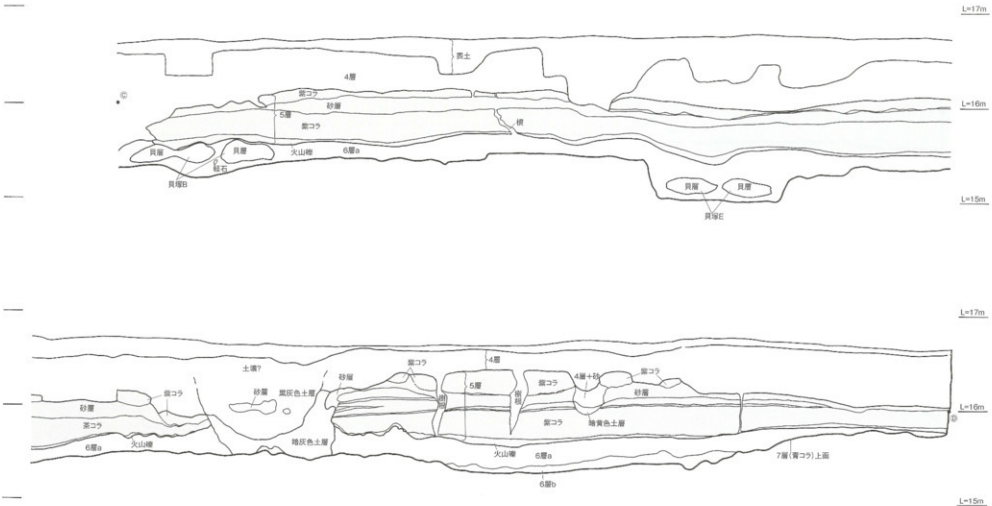


図6　側溝調査区東壁層位断面図2

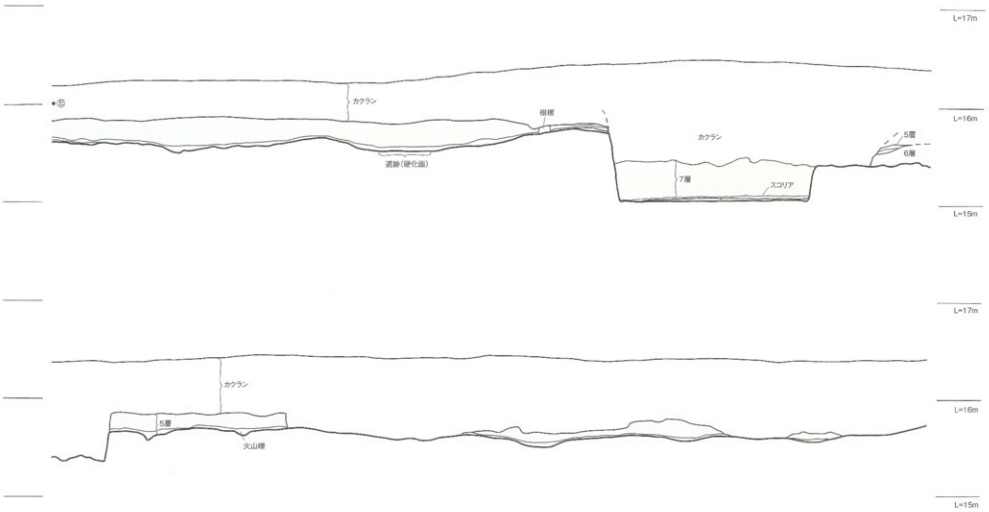


図7　調査区東壁層位断面図1

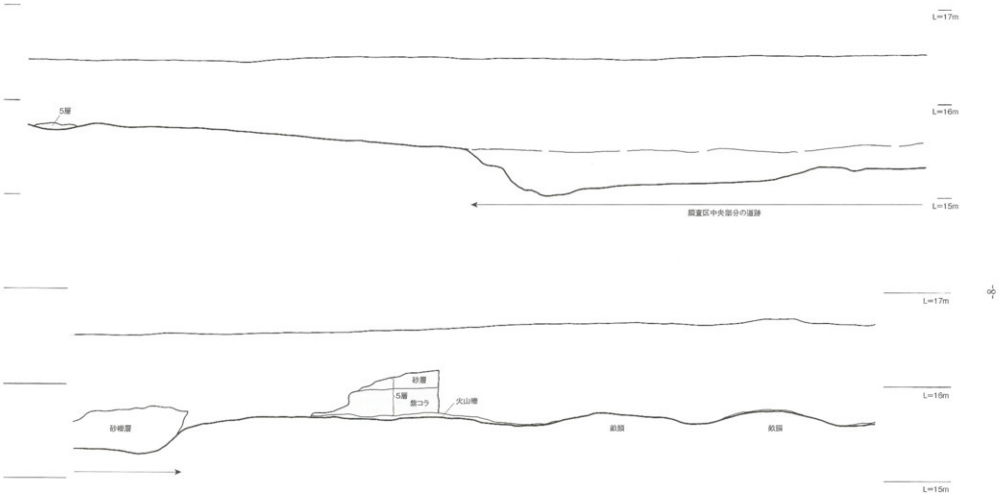
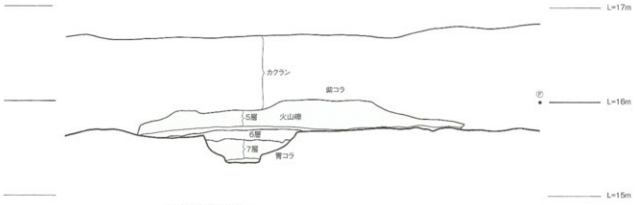
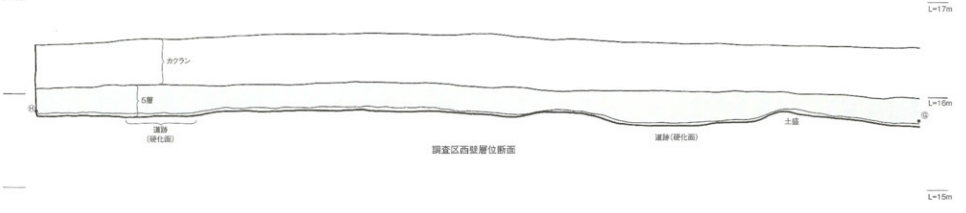


図8　調査区東壁層位断面図1



調査区東壁層位断面



調査区西壁層位断面

図９　調査区東壁及び西壁層位断面図

側溝調査区においては、第１層、４層、第５層、第６層、第７層を確認した。調査区の北側部分では、現地表面から深いことで約１ｍの範囲はすでに撹乱されており、６層上面も削平を受けていた。南側については、北側ほど大きな削平はなく、４層が残存していた。５層の層厚は最大で約75cmを計り、最下層には火山礫が堆積している。図６にある４層の落ち込みは、土壙の可能性もあるが断面のみでの確認であり判然としない。

道路部分の調査区断面では、第１層、５層、第６層、第７層を確認した。５層上面は削平を受けており、本来の層厚を留めていない。５層直下からは畠地遺構群が検出され、断面にも畝の凹凸やフラットな道跡の断面が反映されている。各断面の詳細は図５～９を参照されたい。

第２節　調査区の区割りについて

指宿市土地区画整理事業に伴う発掘調査では、国道226号から東側の市道を結ぶ概ね東西の幹線道路、丹波川から国指定史跡へ向かう概ね南北に伸びる幹線道路を中心に調査区の区割りが設定された。今回報告する範囲は、区画整理事業上10－１線と名付けられた部分で、図10のとおりＢ、Ａ、（－Ａ）、（－Ｂ）、（－Ｃ）、（－Ｄ）の各14、15ブロックに収まる。掲載した遺構図面、遺物観察表の区割り名称は、この名称に基づく。なお、古墳時代の土器集中廃棄所については、その範囲を便宜上Ａ～Ｆの小ブロックに細分し、図化と遺物の取り上げを行った。

第３節　中世の遺構群について

５層上面で、４層及び４層と砂が混在する土壌を埋土とする遺構群を検出した。

１～16のピットは、いずれも４層を埋土とするもので、１～11及び12～16はまとまった範囲に検出されたが、建物等のプランを想定できるものはなかった。

１～３のピットを取り巻くように不整形な溝状遺構が検出された。幅は30～40cm程度、深さは検出面から10～15cm程度を測る。溝の断面はほぼ台形を呈す。円弧状の溝にＶ字状の溝が接する形状で、円弧状の溝の端部からは直径約15cm、深さ約35cmのピットが検出された（図14　Pit １）。埋土は４層と砂が混在する土壌であった。Pit １は遺構と考えられるが、溝状遺構については、埋土に砂が混在していたことや形状が不整形なことから流水痕跡等の自然の痕跡の可能性も棄却できない。検出した範囲ではその性格は不明である。

土壙１は、大小２つの楕円形の土壙が連なった平面がひょうたん状を呈するものである。北側にある大きな土壙は直径約１ｍの楕円形を呈する。最深部は、ピット上になり深さ約50cmを測る。この土壙の埋土には拳大から長径15cm、短径10cmを測る扁平な楕円形の軽石まで、大小の自然礫が含まれていた。小さめの土壙は、長径70cm、短径40cmを測り、これもまたピット状に深さ約25cmを測る。各遺構の関連は判然としない。

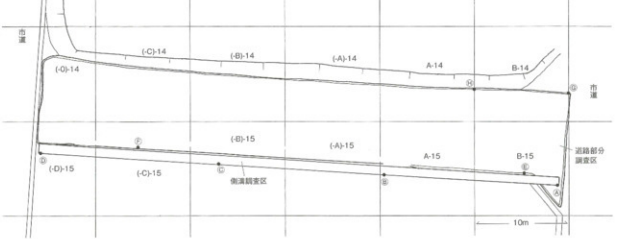


図10　調査区全体図（S=1/400）　Ⓐ～Ⓗはセクションポイント

第４節　奈良～平安時代の遺構群について

（１）874年3月25日に埋没した畠地

①畝について

５層の直下から畠跡を検出した。図15に示したとおり、①～㉘を畝頭、その間を畝間と認識した。畝の幅（畝間の下場間を計測）は、概ね1.2～1.5m程度を測り、畝の高さは、畝間の底を起点とした場合に、20cm程度を測る。畝の断面は、かまぼこ状になるものや畝頭がほぼ平坦になるものがある。畝の作られている方向は、ほぼ西南西から東北東に伸びる。

畝間の幅は、約90～50cm程度を測り、端部にピット状の浅い凹みを有するものもある。畝の長さは、検出した範囲では6～7mを測る。調査区外へも伸びているため、１条の畝の長さがそれ以上どの程度になるのかは分からない。

調査区の南端の範囲では、明確な畝は見られなかったが、旧地形の上面には緩い凹凸が見られた。調査区外の南側の支線道路において、同年、下水道敷設に伴う発掘調査が行われており、その際、トレンチからは畝の検出は見られなかったため、874年3月25日時点では、調査区南端が、畠地の境界付近である可能性もある。

なお、畝間には、874年の噴火で最初に降ってきた火山礫が堆積しており、畝頭程、その堆積が薄い状況が看取された。これは、火山礫降下後、畝間に流れ込んだものもあるためと考えられる。

②ピット及び畝端部の凹みについて

12、13、14は畝⑥の東側端部で検出されたピットである。ほぼ直線状に並ぶ。ピット列の北側からは高床式建物跡が検出されているが、ピットとの関連は不明である。28は畝⑥の畝間端部にある皿状の浅い凹みである。

21、22、23、24、25、26、27は畝頭、あるいは畝間で検出されたピットである。平面は、直径20～30cm程度の楕円形を呈し、深さは10～20cm程度である。畝との関連は分からない。

図11　中世ピット等遺構配置図（S=1/100）

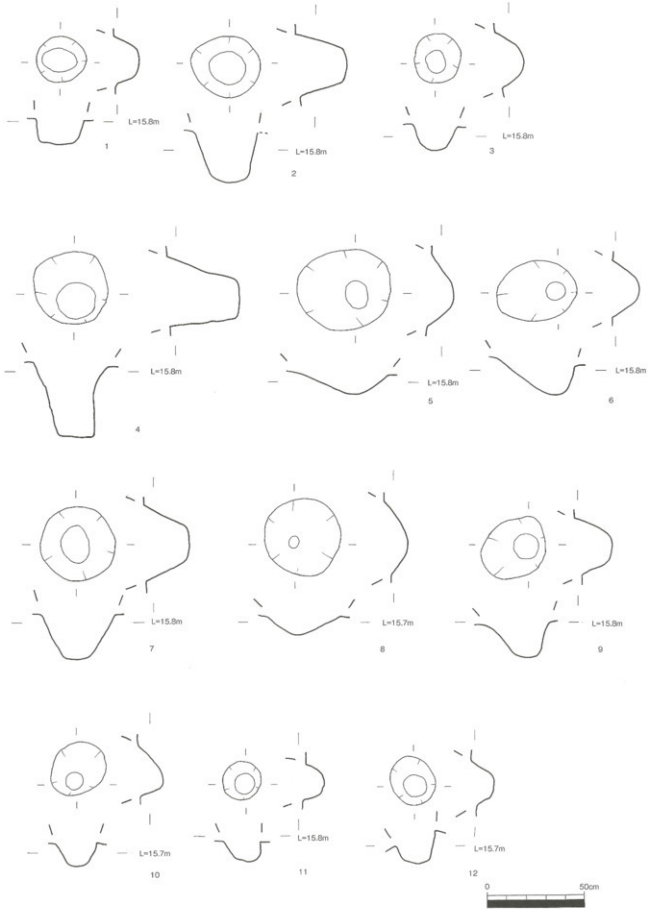


図12　中世ピット平・断面図（S=1/20）

畝①、②、⑲、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖の端部には、浅い皿状の凹みが見られる。図16、17の15～19、28～30に図化した。いずれも、5～10cm程度の凹みである。18及び畝㉒の西側にある浅い凹みは、その西側にある構列を避けるように北西に屈曲しており、畝頭がここで閉じている。端部に見られるこれら凹みが意図的に設けられたものであるのか、あるいは畝立ての際に偶然出来たものであるのか、はっきりとしない。

③小石集積遺構について

畝⑨の東側に、U字状の凹みが検出された。凹みの深さは5～10cm程度で、中には、長径25cm、最大幅16cmの扁平な石が1点、長径数cm～拳大の自然石が集積していた。凹みの中にあった石は大小様々で、すべて自然石であること、U字状の溝が調査区中央を走る道跡の脇、つまり畠地の隅から検出されていることから、調査を担当した下山は、畝立ての際、地面から出てきた余計な小石を廃棄した場所と見る。なぜ、溝がU字状をなしているのかは不明である。

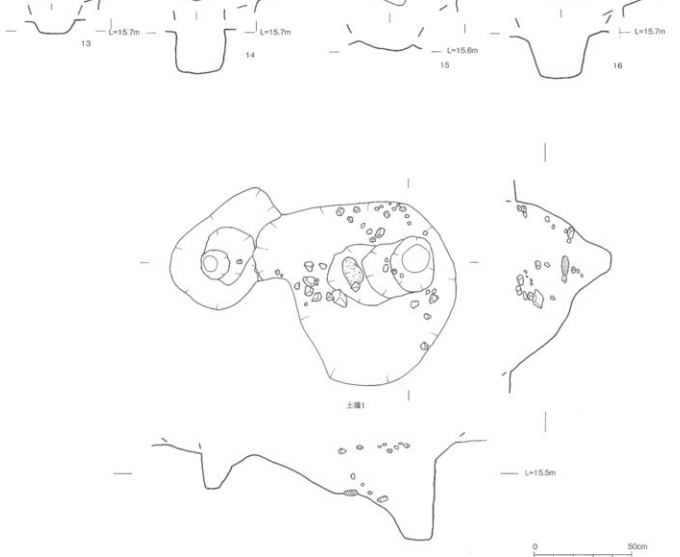


図13　中世ピット及び土壙平・断面図(S=1/20)

④柵列跡について

畝⑮、⑲～㉖の北西側で38個の杭跡と見られるピットを検出した。杭跡はほぼ南北に直線上に並び検出した範囲では、長さ約10mに及ぶ。北川の端部は、道跡の際で止まっている。畠地の北側に設けられた道跡は変則十字路のような状況を呈する。杭跡は、ほぼ南北に伸びる道跡に並行し、畝の端部に設けられていることから柵列跡と考えられる。

個々の杭跡の直径は、5～10cm程度と推定される。深さは、まちまちであるが浅いもので10cm、深いもので50cm以上を測る。

杭跡の間隔は15～20cm程度を測る。㉕～㉘、㉞～㊲のように、同時に存在したと見なせば、部分的に2列に設けられたものもある。

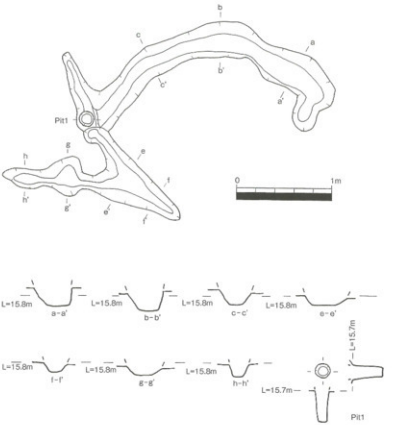
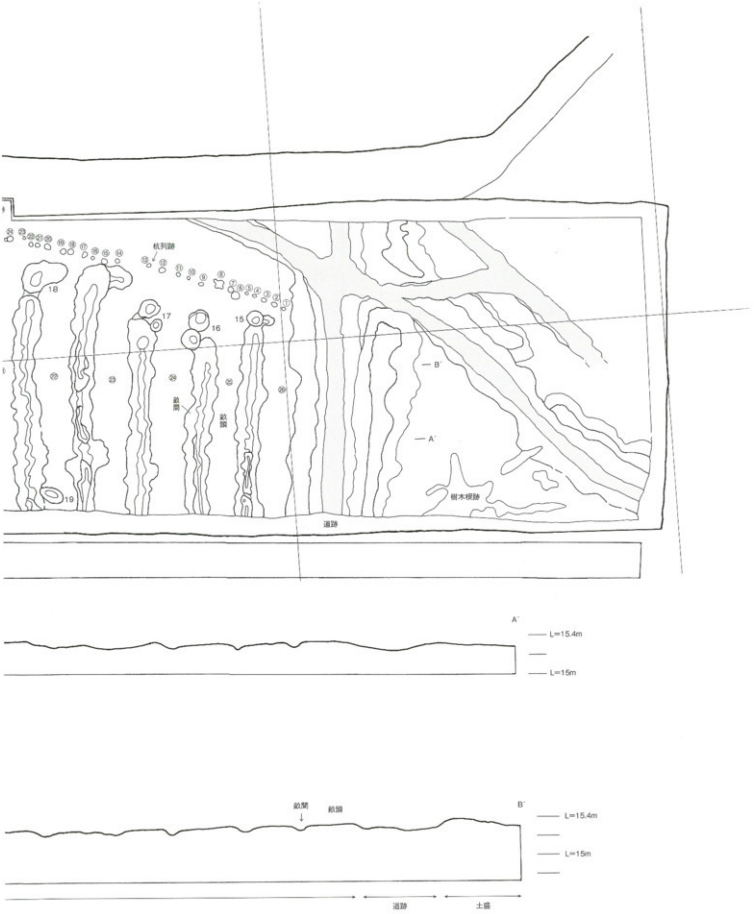


図14　中世溝状遺構及びPit1平・断面図(S=1/40)

柵列法量表

No.	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)
1	13	10	20+α
2	17	11	7
3	14	11	41+α
4	10	8	45+α
5	11	8	10+α
6	26	20	32+α
7	18	15	39+α
8	30	25	30+α
9	16	13	21+α
10	12	9	11+α
11	10	10	10+α
12	20	15	49+α
13	13	11	36+α
14	12	10	17+α
15	17	14	32+α
16	11	8	21+α
17	18	10	32+α
18	19	17	47+α
19	15	10	42+α

No.	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)
20	17	12	21+α
21	10	9	22+α
22	15	10	21+α
23	9	7	7+α
24	9	8	6+α
25	20	18	32+α
26	22	11	32+α
27	20	18	8+α
28	19	11	6+α
29	9	7	3+α
30	16	15	24
31	9	6	5+α
32	10	7	6+α
33	10	8	6+α
34	11	8	8+α
35	30	10	19
36	10	9	16
37	11	9	6
38	13	10	10



杭列跡
18
17
16
15
19
畝間
畝頭
B'
A'
樹木根跡
道跡
A'
L=15.4m
L=15m
畝間
畝頭
B'
L=15.4m
L=15m
道跡
土盛

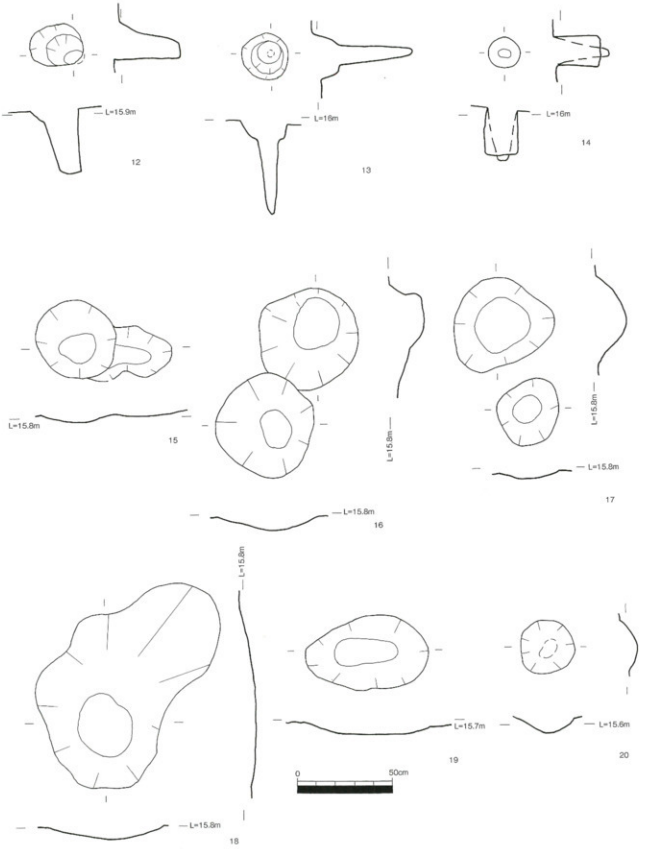


図16　平安時代ピット及び畝端部の凹み平・断面図1（S=1/20）

⑤道跡について

調査区の北側と中央部分で道跡を検出した。

調査区北側の道跡

調査区北側の南北に伸びる道跡は、変則十字路からさらに二股に分かれT字路となり、約1.5mの間隔をあけほぼ南北に並行して２本の道が伸びる。硬化面の幅は30～60cm程度で、周辺より３cm程度凹んでいる。硬化面はフラットである。道幅が狭いことから、畠地脇の小道と見られる。変則十字路の調査区を縦に伸びる道跡の北側に10cm程度の高さをもつ畝状の高まりを検出した。そのすぐ脇に放射状に腐植土壌が広がる範囲があり、これは樹木痕跡と考えらる。隣接して樹木があったことを考えれば、道脇の高まりは畝ではなく、道を造る際に掘削した土をそこへ置いたものと見られる。従って変則十字路の交差点部分までの浅いく凹みは人為的な結果によるものと考えられるが、そのほかの部分については、掘削に伴い凹んだものか人の往来のうちに踏み固められて凹んだものかは判然としない。

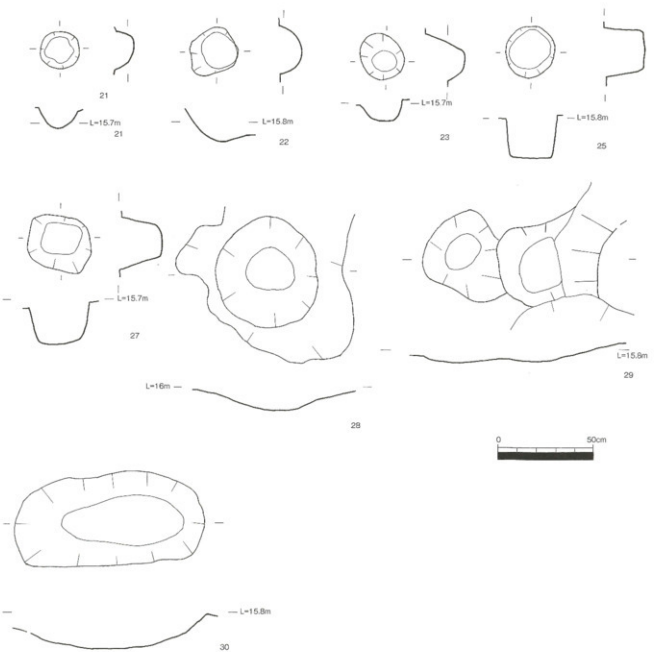


図17　平安時代ピット及び畝端部の凹み平・断面図２(S=1/20)

調査区中央部分の道跡

調査区中央部分で検出した道跡は調査区を縦に伸びる。路面と考えられる底面の幅は2～3m弱を測る。高床式倉庫跡が検出された所から北側に、小石集積遺構が検出された所から南側に、それぞれ段状に低くなり道跡へと至り、路面は畠地より90cm程低いところにある。特に高床式倉庫跡から道跡へはテラス状に段差が設けられ、道へのアクセスが容易になるよう工夫された感がある。

路面のセンターから両脇に向かって、わずかではあるが傾斜が認められるところもあることから、排水の便を考慮して道が造られた可能性もある。

この道跡には、畠脇の小道のような明瞭な硬化面は検出されなかった。道跡は畠地のように5層にパックされた状態ではく、砂礫を大量に含む土壌で覆われており、路面にも細かな凹凸が見られ、その凹みに砂が溜まっている状況が散見された。日本三代実録には、噴火の途中で雨が降ったことが記録されている。昭和63年～平成元年の橋牟礼川遺跡の発掘調査でも、今回の調査区の北側で土石流によって埋没した旧河川が検出されていることから、この道跡にも噴火直後は火山礫や紫コラが堆積したが、周辺より低い位置にあることや旧地形が海に向かって西から東へ緩傾斜しており道跡も同様に緩傾斜が見られることから、一次堆積した5層を洗い流す形で、砂礫層が堆積したものと考えられる。

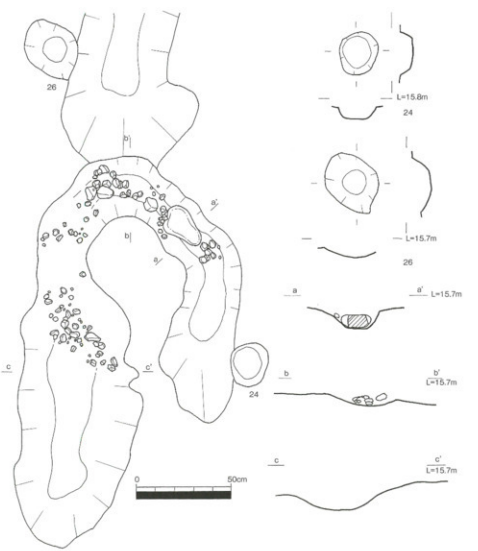


図18　小石集積遺構平・断面図(S=1/20)

⑥高床式倉庫跡について

調査区中央を東西に伸びる道跡の南側から柱穴１～４を四隅の柱とする高床式倉庫跡を検出した。高床式倉庫後の主軸はほぼ南北方向である。柱穴１、２の間隔は、約2.65m、柱穴１、４の間隔は、約3.85m、柱穴３、４の間隔は、約３m、柱穴２、３の間隔は、約3.85mを測る。柱穴１、４のほぼ中間に柱穴６があり、建物を構成する柱穴の可能性がある。柱穴５、７～11も建物プランの内外にまとまっており、建物を構成する柱穴の可能性がある。柱穴の深さは50cm前後を測る。図20、21にある柱穴の断面図のうち、破線を描き添えたものについては、それ以上の深さがある可能性を表現したものである。これは、深くなればなるほど、下層の土壌と埋土との色や土質などの峻別が難しかったことによる。

高床式倉庫跡柱穴法量表

柱穴番号	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)
1	20	19	50
2	17	14	40+α
3	34	33	53
4	22	21	33+α
5	15	14	38+α
6	31	23	43+α
7	59	22	28+α
8	33	21	32+α
9	26	6	26+α
10	25	22	32+α
11	34	30	36+α

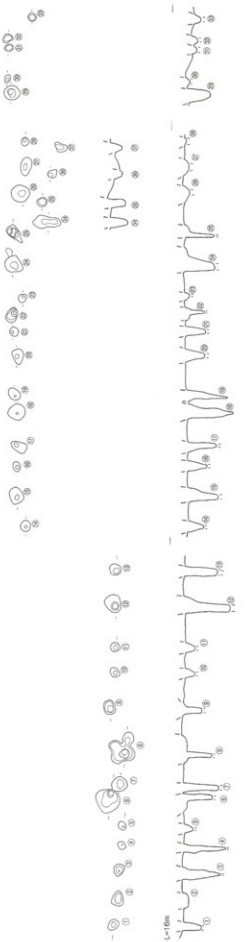


図19　柵列跡平・断面図(S=1/40)

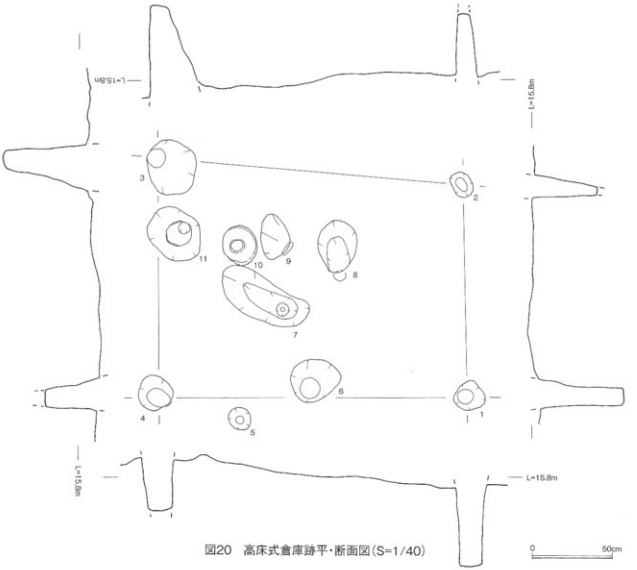


図20　高床式倉庫跡平・断面図(S=1/40)

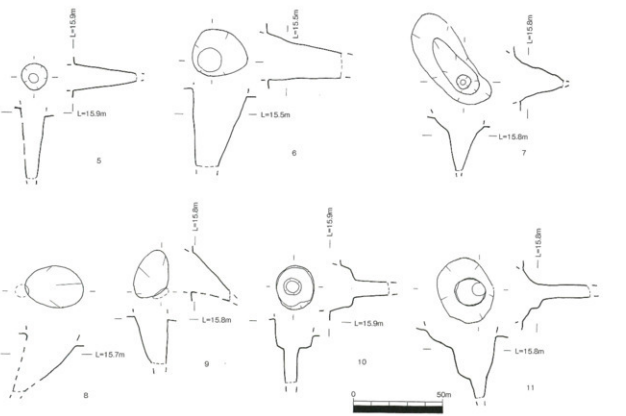


図21　高床式倉庫跡付近柱穴平・断面図(S=1/20)

（2）貝塚について

調査区南壁部分と側溝調査区からそれぞれ貝塚を検出した。詳細な分析については、今後行う予定であるため、ここでは、出土状況と調査時点に看取できた若干の情報を記す。

①貝塚A

調査区南壁で検出した貝塚である。一部は調査区外へと続く。貝塚Aは6層を若干掘り下げた段階で確認された。検出した範囲は約1.3m×約45cmと小規模である。貝のまとまり具合を目安にしてA～Dのブロックに区分し取り上げた。ブロックが廃棄の時間差を示すものと仮定すれば、その切り合い関係からD·C→B→Aの順となる。廃棄された貝は、アサリ、ハマグリ等の二枚貝が多いように思われた。

②貝塚B

側溝調査区で検出した貝塚である。東西方向は一部調査区外へと続く。貝塚Bは、図6に示したとおり、5層に直接被覆されていた。検出した範囲は約1.8m×約1mと小規模である。貝のまとまり具合を目安にしてA～Gのブロックに区分し取り上げた。ブロックが廃棄の時間差を示すものと仮定すれば、その切り合い関係からC、B→A、E→D、G→Fの順となる。B、C、E、Gの前後関係は分からない。廃棄された貝は、アサリ、ハマグリ等の二枚貝が多いように思われた。

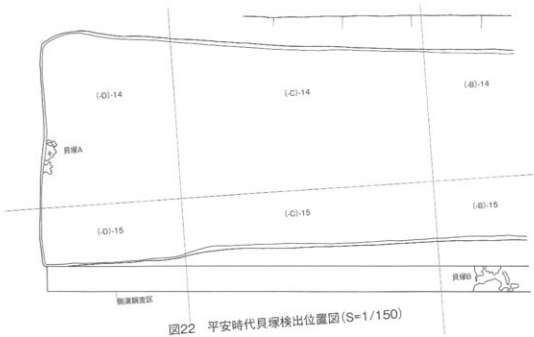


図22　平安時代貝塚検出位置図(S=1/150)

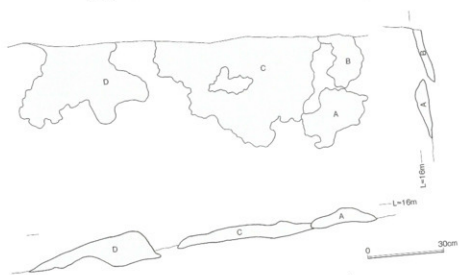


図23　貝塚A平面図·見通し断面図(S=1/15)

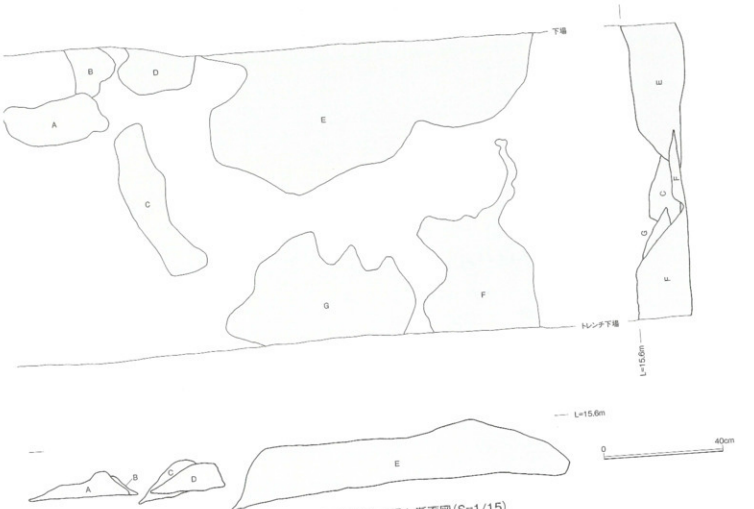


図24　貝塚B平面図・見通し断面図(S=1/15)

図25　古墳時代遺構配置図(1/50)

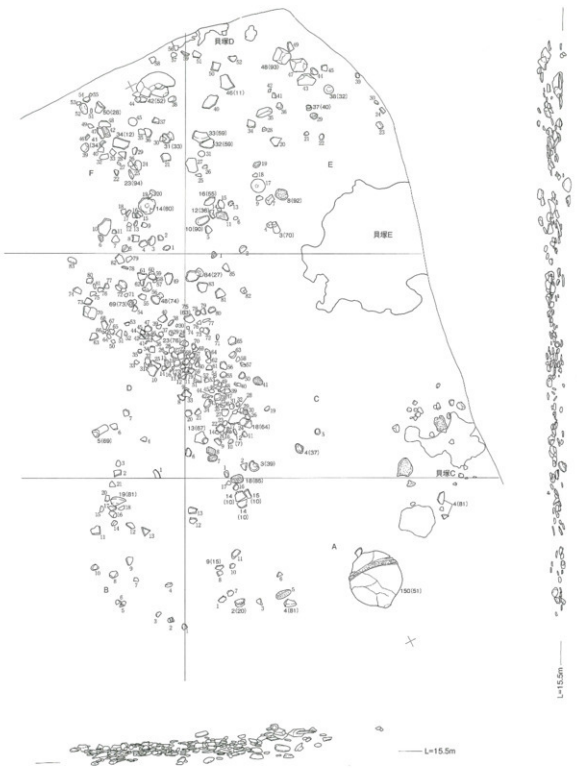


図26　土器集中廃棄所平・断面図(S=1/30)

第５節　古墳時代の遺構について

874年の開聞岳噴火で埋没した畠地については、遺構の重要性を鑑み、道路敷設の工法を変更して、現地保存することとなった。そのため、古墳時代の調査については、畝①より南側の(－D)－14、15区のみについて行った。

第７層に被覆された溝状遺構、土器集中廃棄所、貝塚を検出した。また、溝状遺構の中から７層にパックされた台付長頸壺が出土した。

以下、個々の遺構について記す。

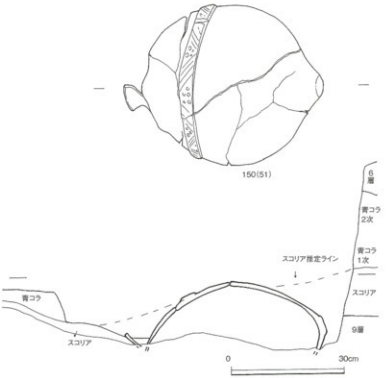


図27　壺形土器出土状況図(S=1/10)

(１)土器集中廃棄所

①壺形土器と長頸壺の出土について

調査区の南隅、溝状遺構の西側で検出した。土器が散乱する範囲は、約幅２m、長さ4.5mを測る。

調査区南側の支線道路部分で、同年、下水道敷設に伴う発掘調査が行われ、本調査区に近接するトレンチで、同時期の土器集中廃棄所が検出されている。

今回検出した土器集中廃棄所は一連のものである。遺物が散在する状況から、土器集中廃棄所の縁辺部と考えられる。

図27に示した壺形土器は、７層の最下部に堆積しているスコリアに被覆されていた。成川式土器の中でも笹貫式土器と呼ばれるものである。

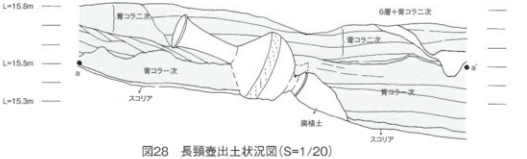


図28　長頸壺出土状況図(S=1/20)

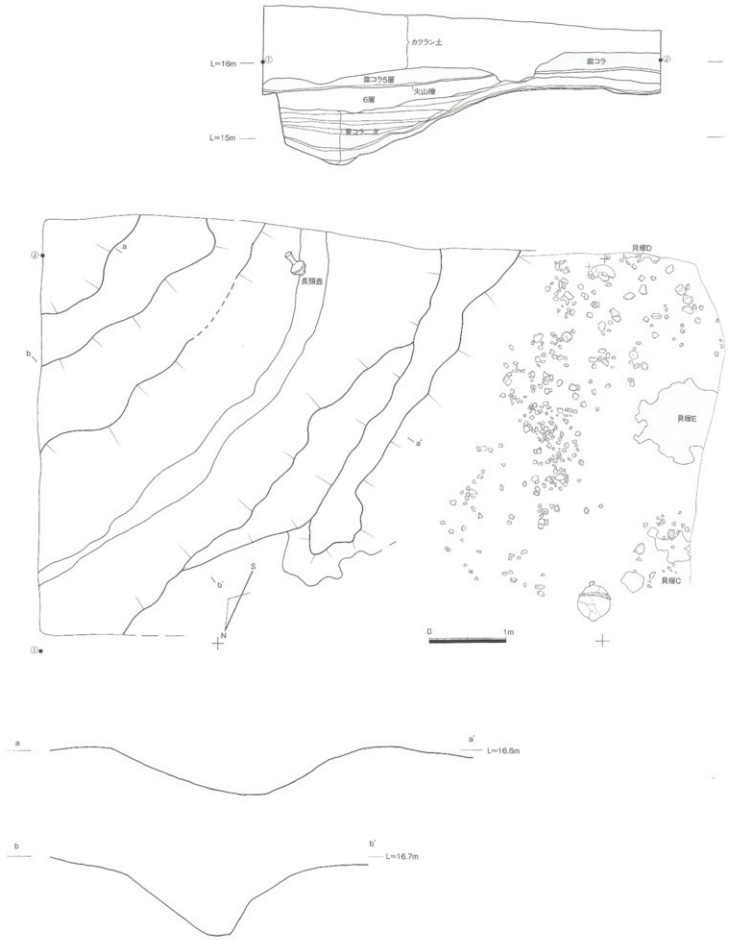


図29　溝状遺構平・断面図(S=1/60)

図28は、須恵器の台付長頸壺の出土状況図である。長頸壺は、溝のやや平坦な部分に置かれており、７層の一次降下物と二次堆積物にパックされ、半ば倒れかけている状態で出土した。

一次降下物は、堆積後の撹乱を受けていないため、頸部下にはフォール・ユニットが明瞭に観察された。また、壺内部には、同様に、一次堆積物がフォール・ユニットを形成し、その後、ラミナが認められる火山噴出物の二次堆積層が壺内、外部に堆積していた。

従って、７層の降下時点では、この長頸壺は若干傾きながらも立っていたものと考えられる。

但し、７層の当初の噴出物であるスコリアは、台付長頸壺の周囲にあり、内部に堆積していなかった。

これは、この壺に腐食してしまう素材の蓋があった可能性、または、スコリア堆積後に壺が置かれた可能性の二つを示唆しているが、いずれかは分からない。

②土器集中廃棄所の状況について

土器集中廃棄所の遺物については、その範囲をA～Fの６つに細分し図化、取り上げを行った。

ほとんどの遺物が破片資料であり、完形品、略完形品はほとんど見られなかった。図26に示した土器集中廃棄所の平面図に付記された番号は取り上げ番号であり、そのうち(　　)内の番号が実測図の番号と一致する。

土器集中廃棄所から出土した遺物の中には、成川式土器や石器のほかに、須恵器の坏蓋がある(図60参照)。図60No. 81の須恵器は、貝塚Cの下から接合資料が得られた。

こうした状況から、土器集中廃棄所の成川式土器は、これら須恵器とほぼ同時期であるが、その後、貝塚が形成され、それと同時期または貝塚の形成後に長頸壺が置かれたものと推測される。

下山は、これら遺構群と遺物の時期について、図60No.81の須恵器を陶邑の中村氏編年に対比させれば、Ⅱ型式4段階以降のものに対比しうると指摘し、土器集中廃棄所、貝塚、そして長頸壺の遺構群は、6世紀後半以降、長頸壺までの時期幅に帰属するものと推量している。

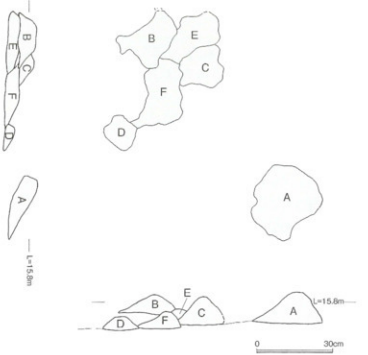


図30　貝塚C平面図・見通し断面図(S=1/15)

図31　貝塚E平面図・見通し断面図(S=1/15)

③溝状遺構について

調査区の南壁から東壁に向かい緩やかにカーブする溝状遺構を検出した。上場の幅は約1.3m～1.6m、深さは深いところで40～50cm程度である。断面は、緩いV字になる部分やボール状になる部分がある。

溝の最下面にはスコリアが堆積し、その上位にはラミナ成層構造が見られる7層の二次堆積物が積もっていた。

検出状況から、溝状遺構と土器集中廃棄所は同時期の遺構と考えられる。

(2)貝塚について

土器集中廃棄所内で貝塚C、D、Eを側溝調査区で貝塚Fを検出した。いずれも小規模な貝塚である。詳細な分析については、今後行う予定であるため、ここでは、出土状況と調査時点に看取できた若干の情報を記す。

①貝塚C

貝のまとまり具合を目安にしてA～Fのブロックに区分し取り上げた。ブロックが廃棄の時間差を示すものと仮定すれば、その切り合い関係からF→E→B･C･Dの順となる。Aブロックとその他のブロックの時間差は分からない。廃棄された貝は、マガキガイが多いように思われた。なお、Aブロックの下から図60No. 81の須恵器の接合資料が得られた。

②貝塚D

調査区の南壁付近で検出した。一部は調査区外に続くものと思われる。A、B1、B2、Cのブロックに区分し取り上げたがB1、B2の斬り合い関係は判然としなかった。廃棄された貝は、マガキガイが多いように思われた。

③貝塚E

貝塚Dの南側で検出した。近い位置にあることから、貝塚C、Dと一連の貝塚であるものと推測される。貝塚の周囲には成川式土器の破片や軽石等が散布していた。

④貝塚F

貝塚Fは側溝調査区で検出された。図33のとおり、Fブロック廃棄後、開聞岳が噴火、スコリアが薄く堆積した後、引き続きA～Dのブロックが廃棄されていた。噴火後、貝塚が形成され続けていたことを物語る遺構である。

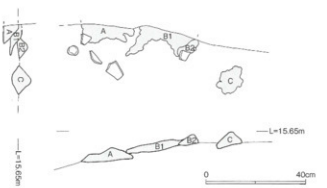


図32　貝塚D　平面図・見通し断面図(S=1/15)

図33　貝塚下　平面図・見通し断面図(S=1/15)

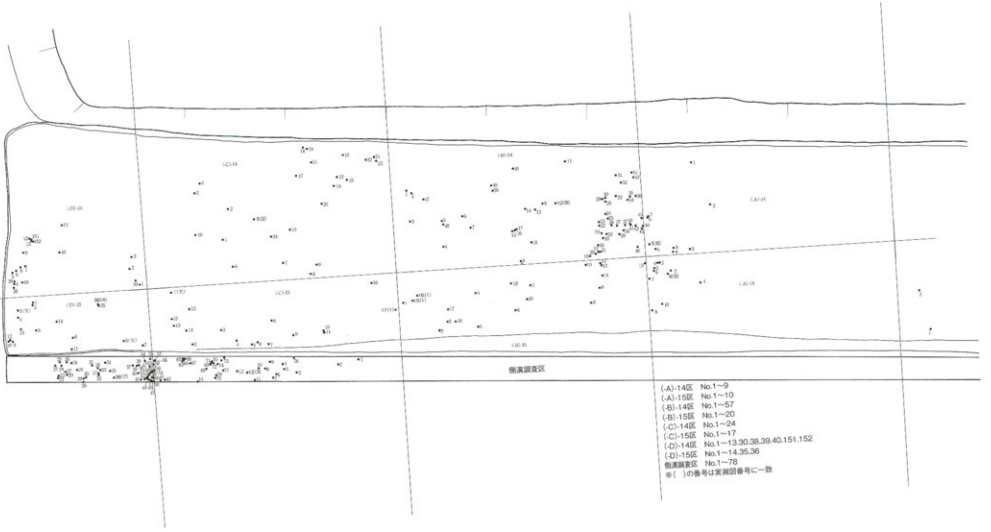
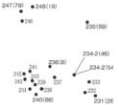


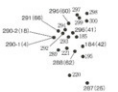
図34　6層及び6層相当砂層出土遺物分布図(S＝1/150)

図35　8層出土遺物分布図

336


247(79)
248(19)
249
250(59)
234-2(46)
234-2154
236(30)
241
242
243
244
245
246
247
233
232
231(26)
240(66)

(-D)-14


295(93)
296
291(68)
300
290-2(18)
290(41)
290-1(4)
195
284(42)
285
286
287
95
288(62)
229
287(25)

276
285
283
284
277
279(24)
281
282
268
272
266(45)
264(30)
265(16)
254(84)
288

102(72)
231
223
136
103
96
100
97
274
95(14)
70(61)
93
60
125
260

第6節　遺物について

側溝調査区、道路部分の調査区を含め、6層、7層、8層、9層から遺物の出土が見られた。それぞれの遺物の出土状況は、図26、図34～36に示したとおりである。ナンバーリングして取り上げた遺物は、1307点を数える。そのうち、以下に、完形率の高かったものや特徴を示す部位が残存していた遺物93点を図化し、層ごとに報告する。

（1）6層出土遺物（図37、38）

1は須恵器坏身の破片である。約1/3が残存していた。内外面ともにやや摩滅している。復元口径は14.25cm、高さ4.1cmを測る。

2は、須恵器甕の胴部破片である。破片が小さく、天地、傾きは不明である。内面にタタキの痕跡が残る。

3は、壺形土器の口縁部破片である。口縁部はわずかに外反し、口唇端部は丸みを帯びる。

4は、甕形土器の底部破片である。底径は9.1cmを測る。脚台見込み部の断面は釣鐘状になる。もともとは、9層に帰属する成川式土器と考えられ、何らかの原因で6層に上がってきたものと推測される。

5は、甕形土器の底部破片である。復元底径は7.8cmを測る。脚台見込み部の断面は台形状になる。もともとは、9層に帰属する成川式土器と考えられ、何らかの原因で6層に上がってきたものと推測される。

6は、甕形土器の口縁部～胴部の破片である。口縁部は外反し、頸部屈曲部の内外面に稜をもつ。

7は、人形土製品の破片と思われる。残存する高さは3.5cmを測る。足と腹部が表現されているように思われる。底面はわずかに凹む。

8は台石と思われる。側面は自然面であるが。a面には磨面が認められる。

（2）8層出土遺物（図39～41）

1は、甕形土器の口縁部～胴部の破片である。口縁部はほぼ直行する。1条の突帯が巡り、突帯には棒状具によるキザミが施される。

2～6は甕形土器の底部破片である。2の脚台見込み部は浅い。3～6の脚台見込み部は深く、その断面はかまぼこ状～釣鐘状を呈する。

7は鉢形土器の底部破片である。脚台は短く見込み部は浅い。

8はミニチュアの鉢形土器の底部破片と思われる。底面はかすかに上げ底になる。

9～11は、高坏の脚部破片である。9は脚部から底部にかけて屈曲しラッパ状に開くもので、屈曲部に円形の透かしが施される。10は脚部から底部に緩やかに開く形状をなす。脚部見込み部には、粘土塊を貼り付けた痕跡が残る。11は、脚部から底部にかけて屈曲しラッパ状に開く形状をなすものと思われる。

12、13は坩形土器である。12は胴部がそろばん玉状をなすもので、内外面に稜をもつ。13は底部の破片である。かすかに上げ底になる。

14～16は軽石製加工品である。14の端部は船首状に細くなる。断面は楕円形を呈する。15は円形の軽石を加工したものと見られ、全面に磨面をもつ。16は扁平な楕円形を呈した加工品で、中央付近に凹みをもつ。

（3）9層出土遺物（図42～図64）

1～18は甕形土器の口縁部～胴部の破片である。

1は口縁部が外反するもので、屈曲部分に断面三角形の1条の突帯が巡り、突帯には棒状具によるキザミが施される。

2は口縁部がわずかに外反するもので、屈曲部分に断面三角形の1条の突帯が巡る。

3は口縁部が外反するもので、断面三角形の1条の突帯が巡る。

4、5は口縁部が外反するもので、突帯はない。部分的にユビオサエの痕跡が残る。

6は口縁部がほぼ直行するもので、約1/4が残存していた。復元口径は23.5cmを測る。断面三角形の1条の突帯が巡り、突帯には棒状具によるキザミが施される。

7も口縁部がやや開きながら直行するもので、約1/4が残存していた。復元口径は29cmを測る。断面三角形の1条の

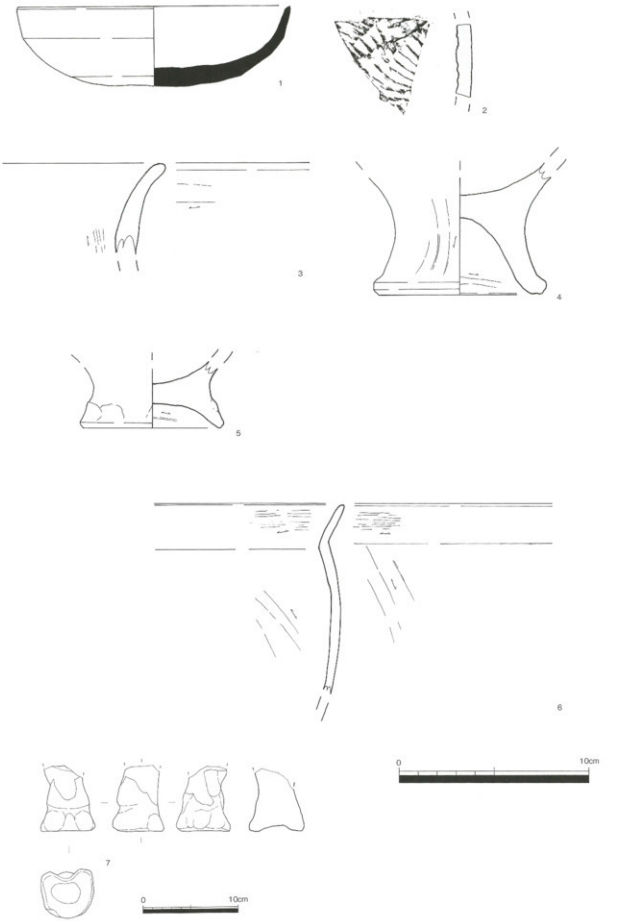


図37　6層出土遺物実例図①(S=1/2及び1/4)

突帯が巡る。内外面ともにミガキが施されている。

8は、甕形土器の口縁部～胴部の破片である。口縁部はわずかに内湾する。断面が台形状の突帯が１条巡り、突帯には棒状具によるキザミが施される。

９は口縁部がほぼ直行するもので、断面三角形の１条の突帯が巡る。突帯の端部はずれており、ひっつかない。

10は口縁部がやや開きながら直行するもので、断面三角形の１条の突帯が巡る。突帯は低く上方に跳ね上がるように端部がひっつく。内外面ともにミガキが施される。

11は口縁部がほぼ直行するもので、断面が台形状の突帯が１条巡り、突帯には棒状具によるキザミが施される。

12は口縁部がやや開きながら直行するもので、断面三角形の１条の突帯が巡る。

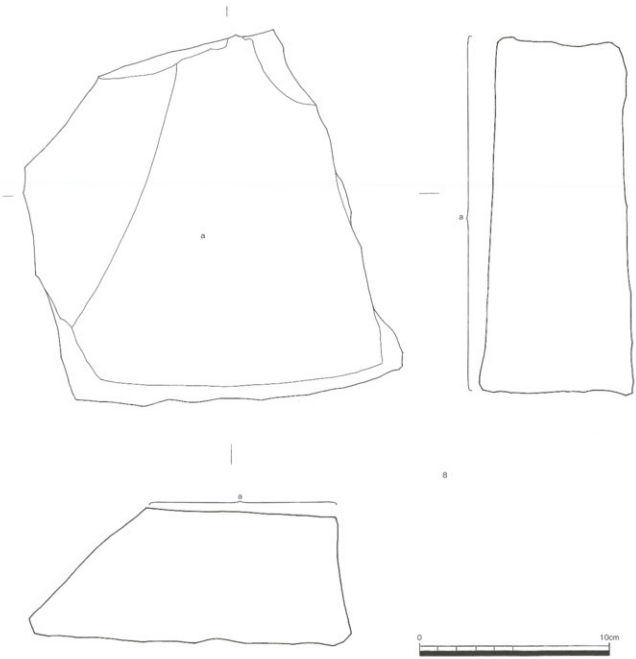


図38　6層出土遺物実測図②(S=1/2)

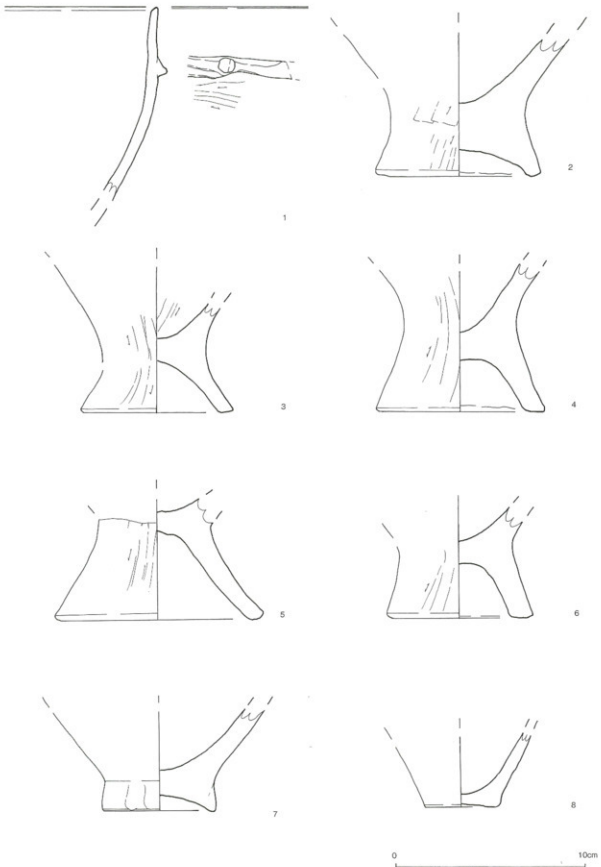
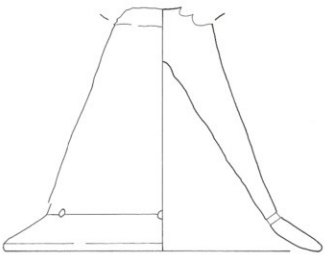
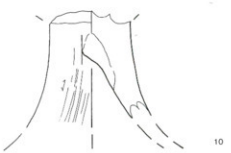
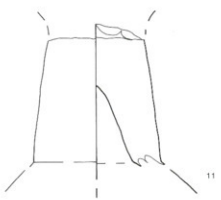


図39　8層出土遺物実測図①(S=1/2)







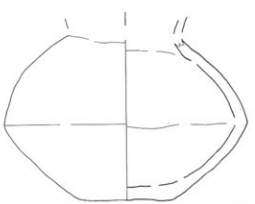


図40　8層出土遺物実測図②(S=1/2)

13は口縁部がやや開きながら直行するもので、断面三角形の１条の突帯が巡り、突帯には棒状具によるキザミが施される。

14は口縁部がほぼ直行するもので、断面が台形状の突帯が１条巡る。

15は口縁部がほぼ直行するもので、断面三角形の１条の突帯が巡る。

16、17は口縁部はわずかに内湾するもので、断面三角形の１条の突帯が巡る。

18は口縁部が開きながら直行するもので口縁部には接合痕が残る。

19～39は、甕形土器の底部の破片である。

20は平底になるが、それ以外については、脚台見込み部の断面が皿状～かまぼこ状をなす。

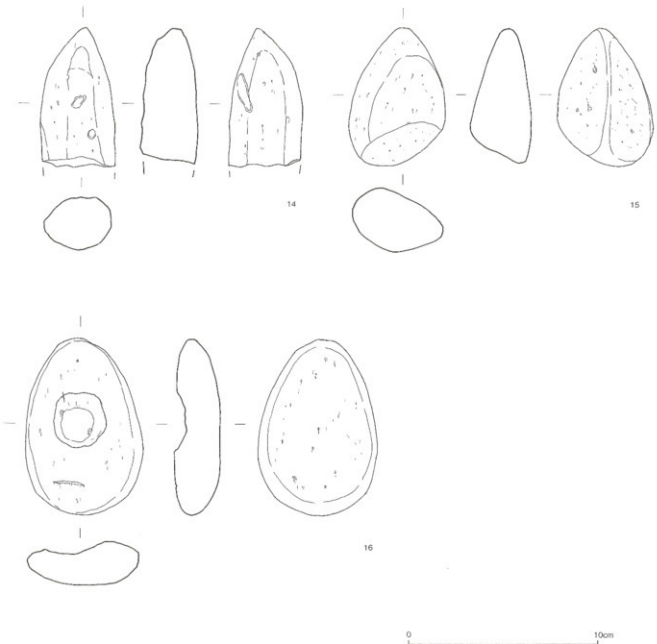


図41　8層出土遺物実測図③(S＝1/2)

40はミニチュアの甕形土器の底部の破片である。
41 ～ 45は鉢形土器の破片である。
41は約1/2が残存していた。復元口径13.7cm、復元底径4.7cm、高さ8.5cmを測る。底部は平底である。
42 ～ 45は底部の破片である。44はわずかに上げ底をなす。43、45は脚台見込み部の断面が皿状をなす。
46 ～ 58は壺形土器である。

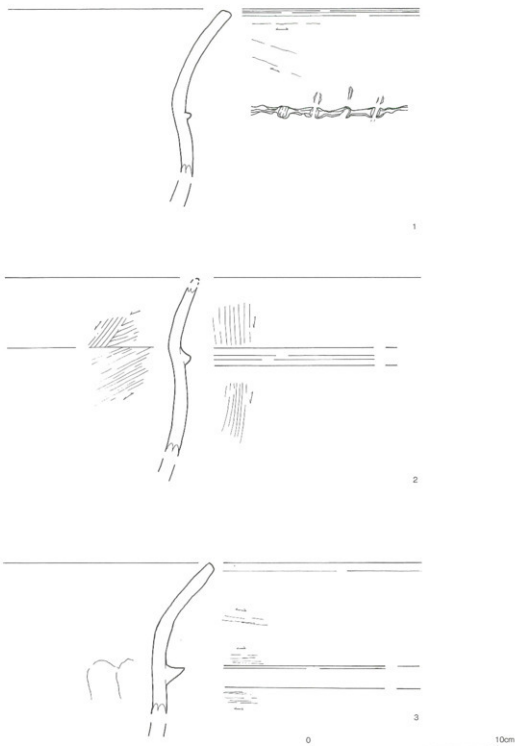


図42　9層出土遺物実測図①(S＝1/2)

46、47は口縁部～頸部屈曲部の破片で、口縁部は外反する。

48は外反する口縁部の破片で、口唇端部にわずかな凹みをもつ。

49は突帯部の破片である。幅広突帯と呼ばれるもので、突帯にはヘラ状具によるハの字状のキザミと棒状具による細かな刺突が施される。

50も突帯部の破片である。突帯は頸部屈曲部に付けられたものと考えられる。ハの字状のキザミの間に竹管文が施される。

51は略形品である。口縁部は外反し、胴部は丸く膨らむ。頸部屈曲部と胴部に突帯が巡る。頸部屈曲部の突帯には竹管文が施される。また、胴部の突帯は幅広突帯と呼ばれるもので、突帯にはヘラ状具によるハの字状のキザミと竹管文が施される。

52は頸部屈曲部から胴部の破片である。胴部の突帯は幅広突帯と呼ばれるもので、突帯にはヘラ状具によるハの字状のキザミが施される。53は頸部屈曲部から胴部の破片である。肩部がやや張る形状をなす。

54～58は底部の破片である。55は丸底をなすが、それ以外は平底となる。

59～77は高坏である。

59は坏部の破片で約3/5が残存していた。復元口径は19.8cmを測る。

60は坏部の破片である。脚部に至る途中に明瞭な稜をもつ。内外面ともにミガキが施される。61も同様である。

62、63は口縁部がわずかに外反する。64は口縁部が開きながら外反する坏部となる。

65は脚部～底部の破片である。底部にかけて大きく裾が広がるように屈曲する。外面にはミガキが施され、赤色塗彩されている。

66は脚部～底部にかけて大きな屈曲はなく開く形状をなす。

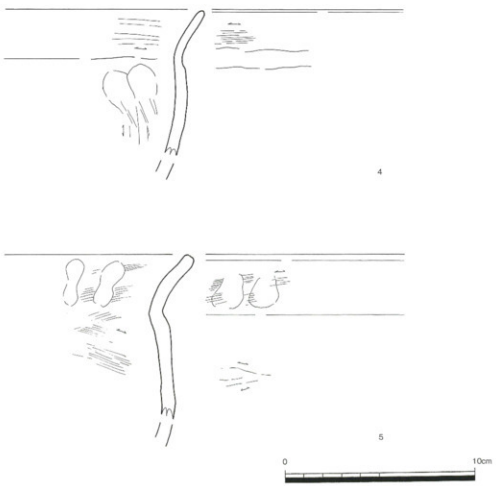


図43　9層出土遺物実測図②(S=1/2)

67～73は脚部の破片である。

69、70のように脚部見込み部に粘土塊を貼り付けた痕跡が残るものがある。

71、72は脚部がわずかに樽状に膨らむもので底部へと続く屈曲部に明瞭な稜をもつ。

73の脚部は膨らまないが底部へと続く屈曲部に明瞭な稜をもつ。

74、75、77は甕形土器の脚台が縦に伸びたような形状をなすものである。75については鉢の可能性もある。　76は脚部の破片である脚部見込み部はない。

78～80は埴形土器の破片である。

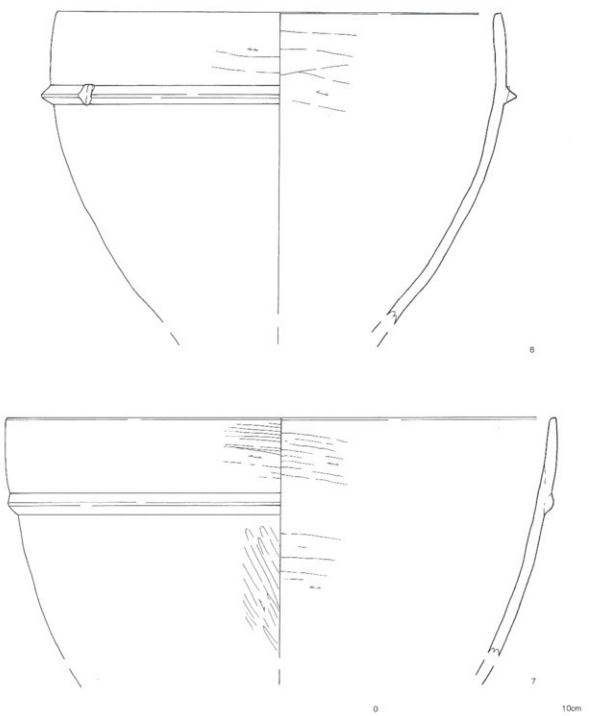


図44　9層出土遺物実測図③(S=1/2)

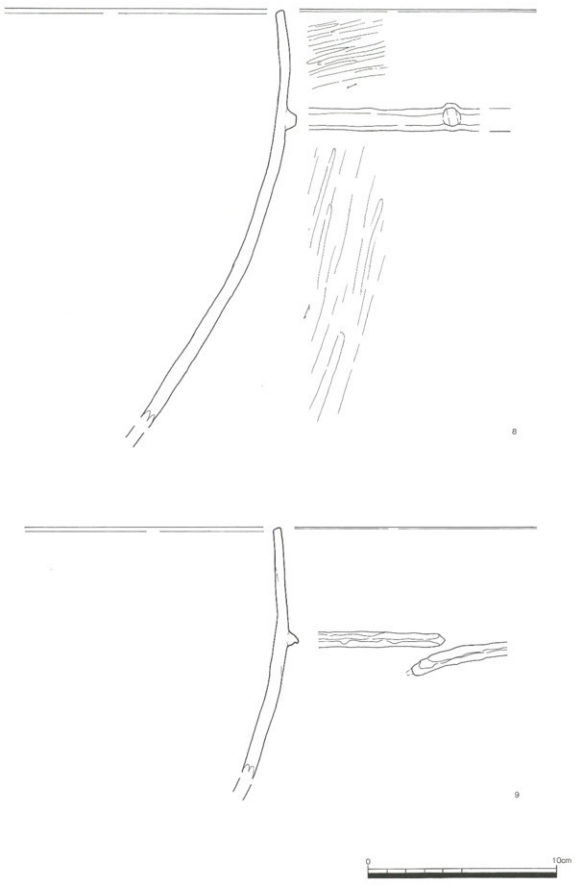


図45　9層出土遺物実測図④(S=1/2)

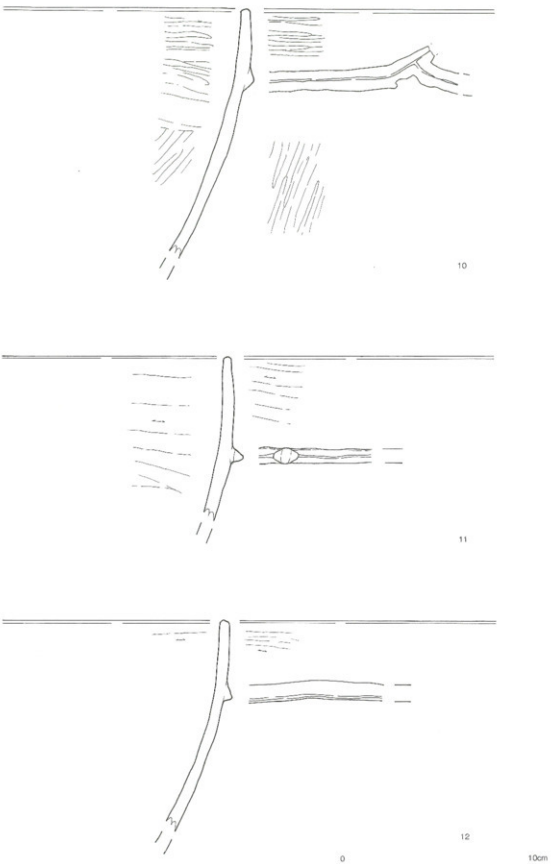


図46　9層出土遺物実測図⑤(S=1/2)

78は口縁部の破片でわずかに内湾する。79は胴部～底部の破片である。胴部はそろばん玉状に膨らみ、外面に明瞭な稜をもつ。

80は底部の破片である。内面に稜が見られることから頸部にかけて屈曲する形状をなすものと思われる。

81は土器集中廃棄所から出土した須恵器坏蓋である。回転ナデ調整が施されている。下山は、陶邑の中村氏編年に対比させれば、Ⅱ型式4段階以降のものに対比しうると指摘している。

82は須恵器台付長頸壺である。長頸壺は、器高33.3m、口縁部径11.2cm、体部最大径23.9cm、高台部径12.7cmを測る。高台には4カ所の穿孔がある。体部下半部には、へら書き記号が付されている。

体部最大径部には、刺突文が施される。回転台の回転方向は、砂粒の動きから左回りであることがわかる。回転ヘラケズリののち、回転ナデ調整が施されている。

下山は、中村氏編年との対比から、この長頸壺の口縁端部の形態は、Ⅲ型式3段階からⅣ型式1段階に近似し、口頸部のカーブについては、Ⅲ型式3段階からⅣ型式1段階のものに近似するとした。また、体部の形態は、肩部が張ることから、Ⅲ型式2段階からⅣ型式1段階の特徴を示していると見ている。さらに、脚の形態は、やや高い高台状の形態をなし、内端面を接地面とするものであることから、Ⅲ型式2段階以降の特徴を示していると捉え、中村編年案と対比させるのであれば、Ⅲ型式3段階からⅣ型式1段階に帰属する可能性が高いと指摘している。

この長頸壺の絶対年代について下山は、「中島(中島他、1977)らによる熱残留磁化測定結果を参考にし、TG-70で出土した台付長頸壺との比較を行う場合、「AD680～AD720」という年代が与えられている。また、中村氏による相対年代観についても概ね、理科学的方法と合致したものであった。しかし、TG-70出土の台付長頸壺の形態は橋牟礼川遺跡出土の台付長頸壺より文様を施さないなどやや後出の感があり、橋牟礼川遺跡出土の台付長頸壺の年代観は概ね7世紀の後半期のものと考えておきたい。」と述べている。

83は須恵器甕の胴部破片である。内面にタタキの痕跡が残る。

84は鉄器である。鉄鏃の基部の可能性がある。

85～87、92は軽石製加工品である。

85は扁平な楕円形の軽石の片面に4条の並行するキザミを、その裏面に1条のキザミを施したものである。　86は扁平な楕円形の軽石を全面磨いたものである。

87も欠損している部分はあるが86と同様である。

92は幅6mm程度、長さ3cm弱のキザミをもつ加工品である。

88、91は片面に敲打痕が見られる楕円形の自然石を利用した凹石である。

89、90は扁平な両面に敲打痕が見られる楕円形の自然石を利用した凹石である。93、94は角礫を利用した凹石で片面に敲打痕が見られる。

掲載した遺物の法量、調整、石材等については、観察表1～8を参照されたい。

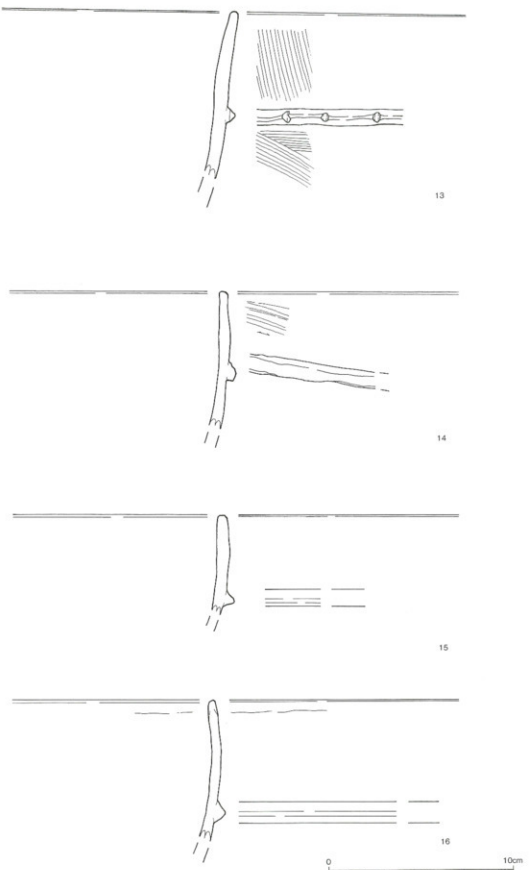
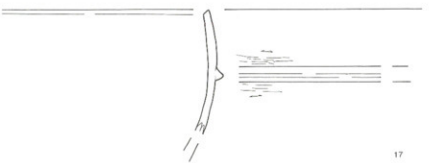
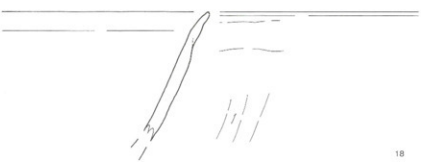
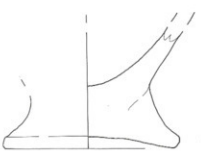
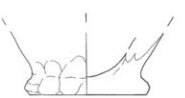


図47　9層出土遺物実測図⑥(S=1/2)









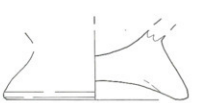


図48　9層出土遺物実測⑦(S=1/2)

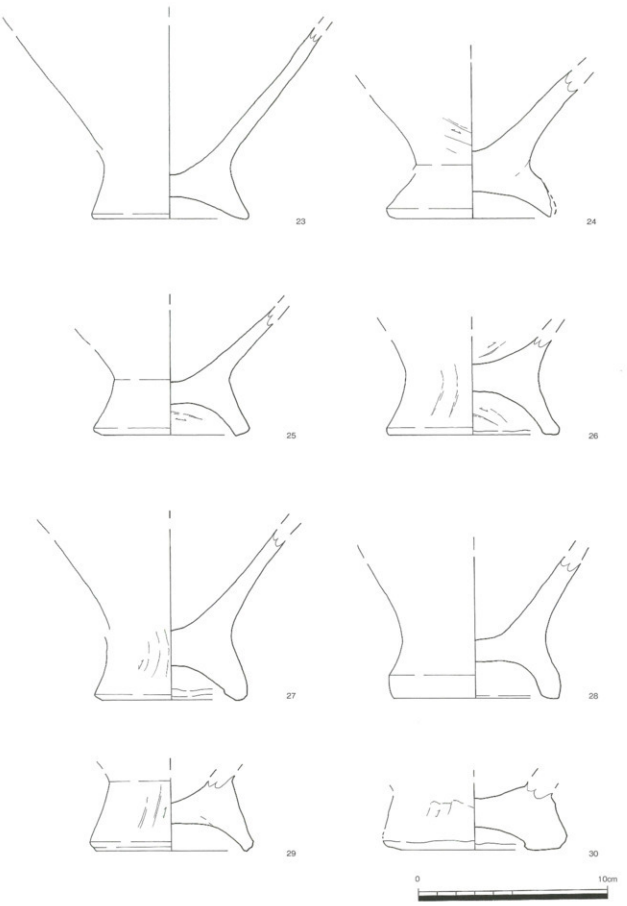


図49　9層出土遺物実測図⑧(S=1/2)

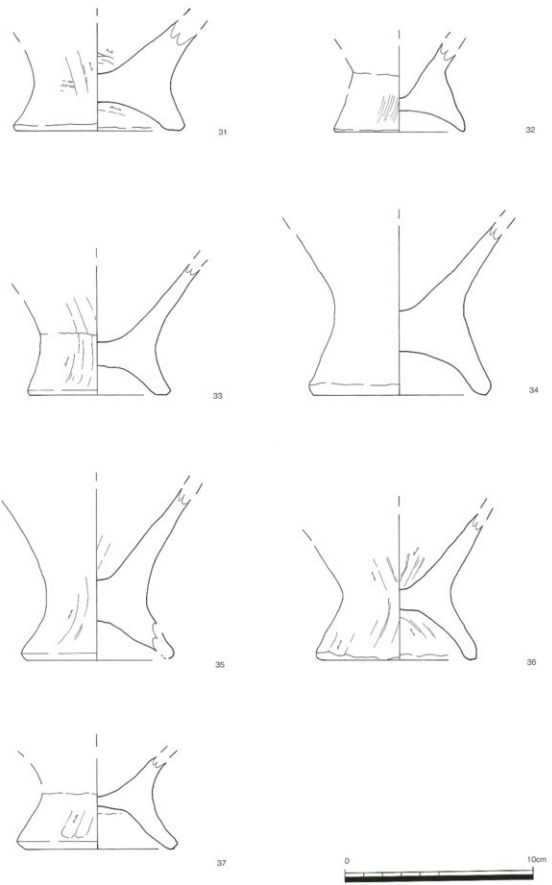


図50　9層出土遺物実測図⑨(S=1/2)

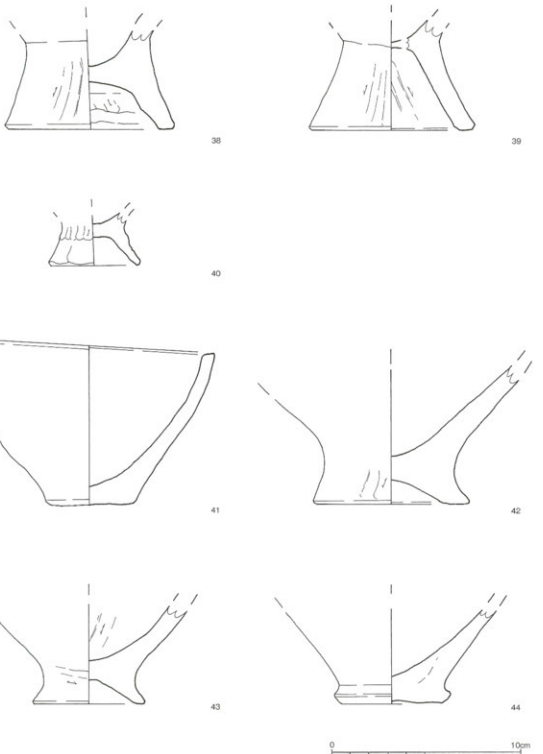


図51　9層出土遺物実測図⑩(S=1/2)

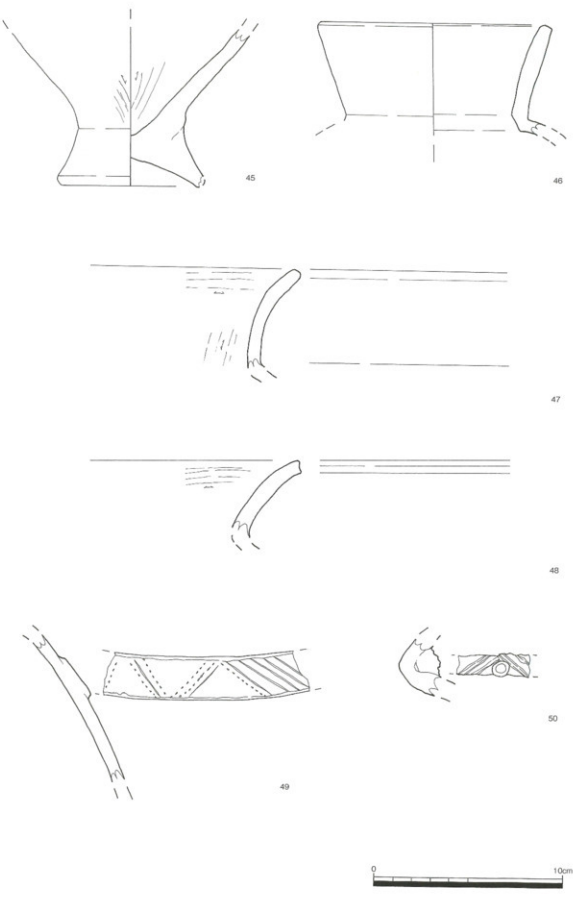


図52　9層出土遺物実測図⑪(S=1/2)

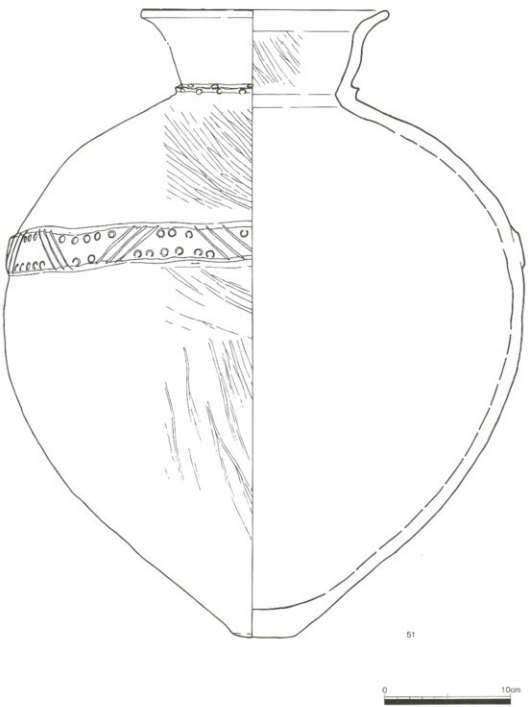


図53　9層出土遺物実測図⑫(S=1/3)

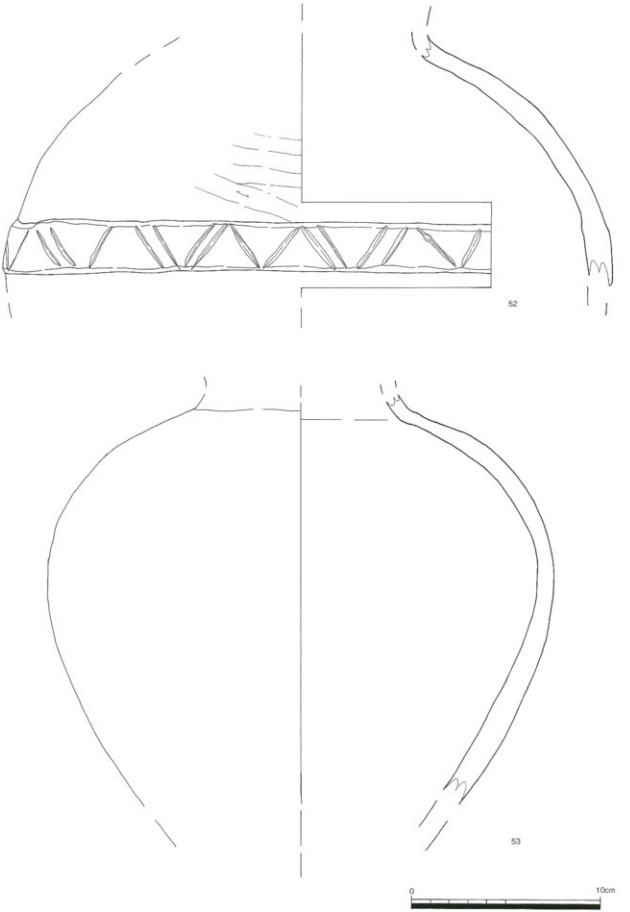


図54　9層出土遺物実測図⑬(S=1/2)

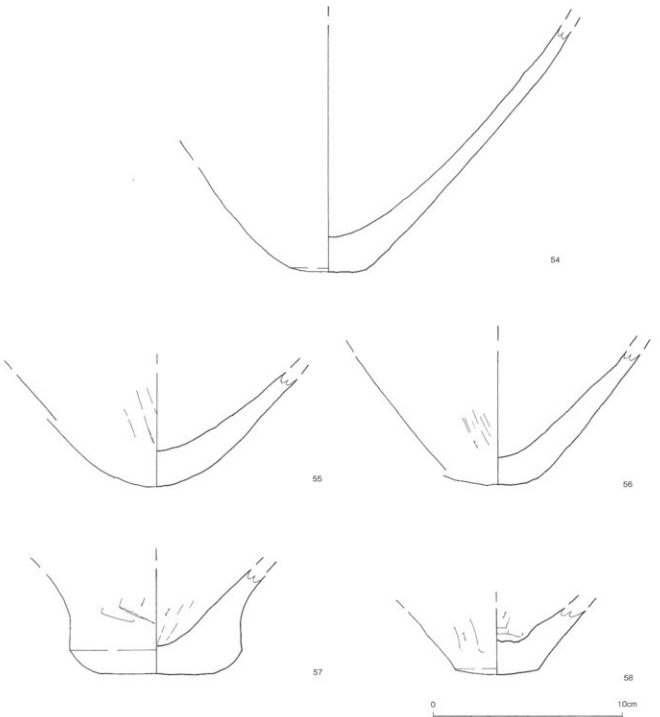


図55　9層出土遺物実測図⑭(S＝1/2)

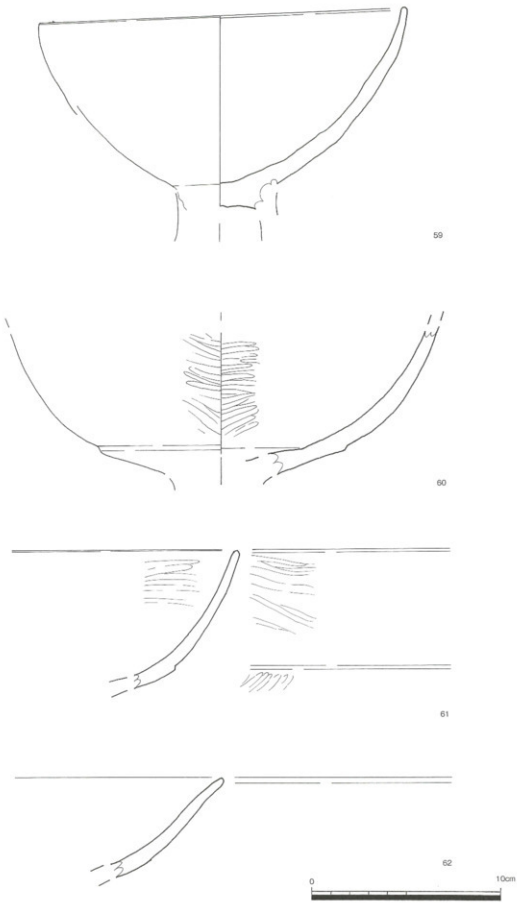


図56　9層出土遺物実測図⑮(S=1/2)

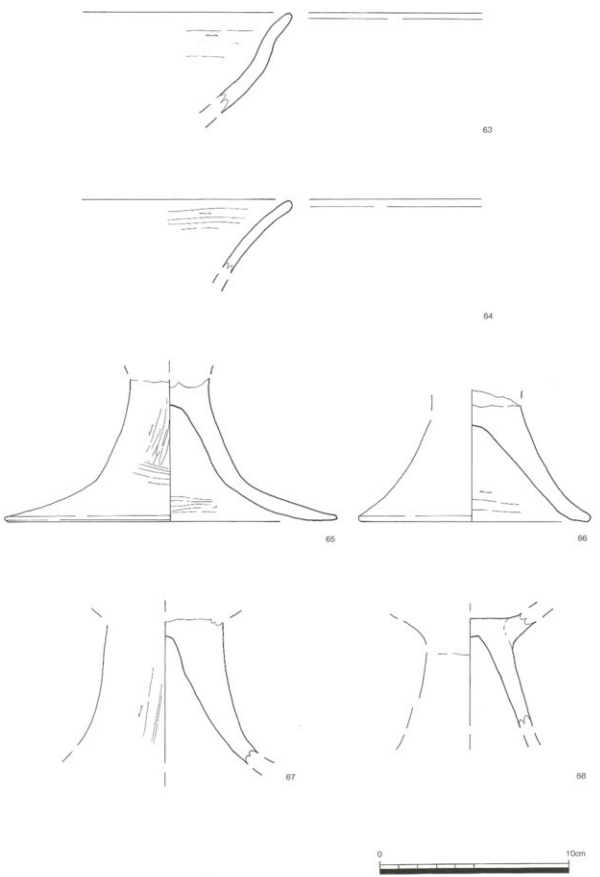


図57　9層出土遺物実測図⑯(S=1/2)

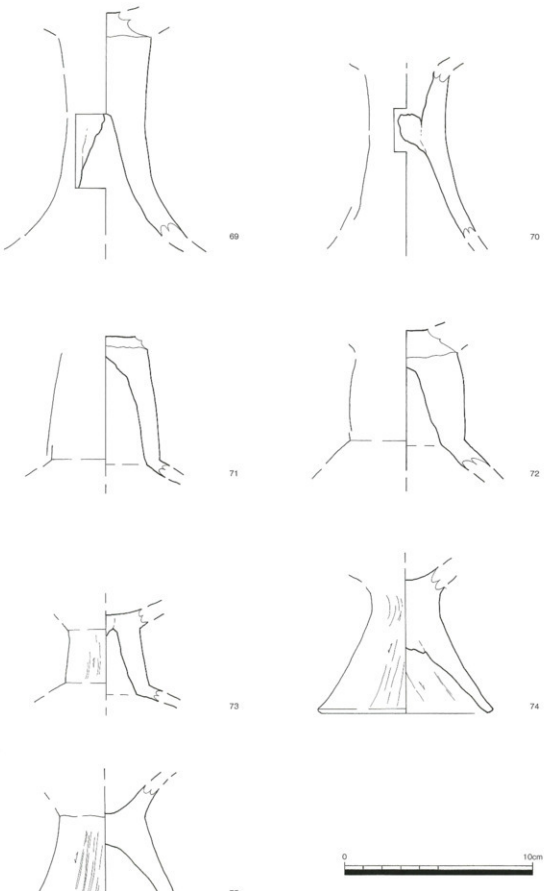


図58　9層出土遺物実測図⑰(S=1/2)

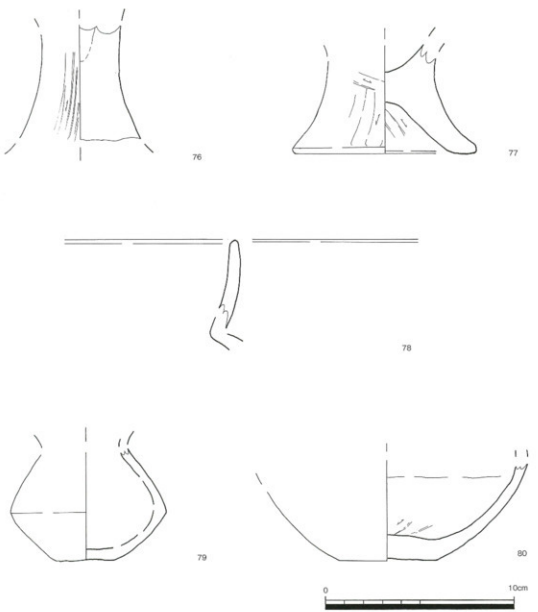


図59　9層出土遺物実測図⑱(S＝1/2)

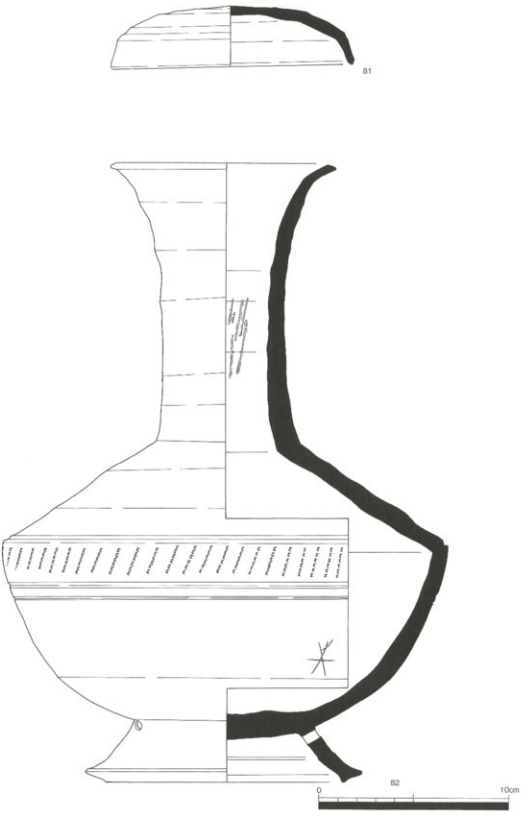


図60　9層出土遺物実測図⑲(S=1/2)

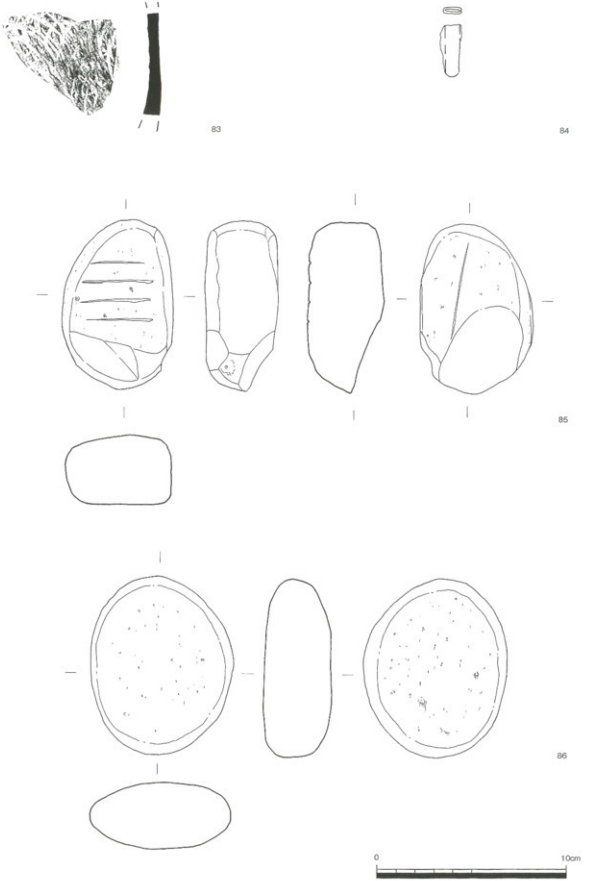


図61　9層出土遺物実測図㉑(S＝1/2)

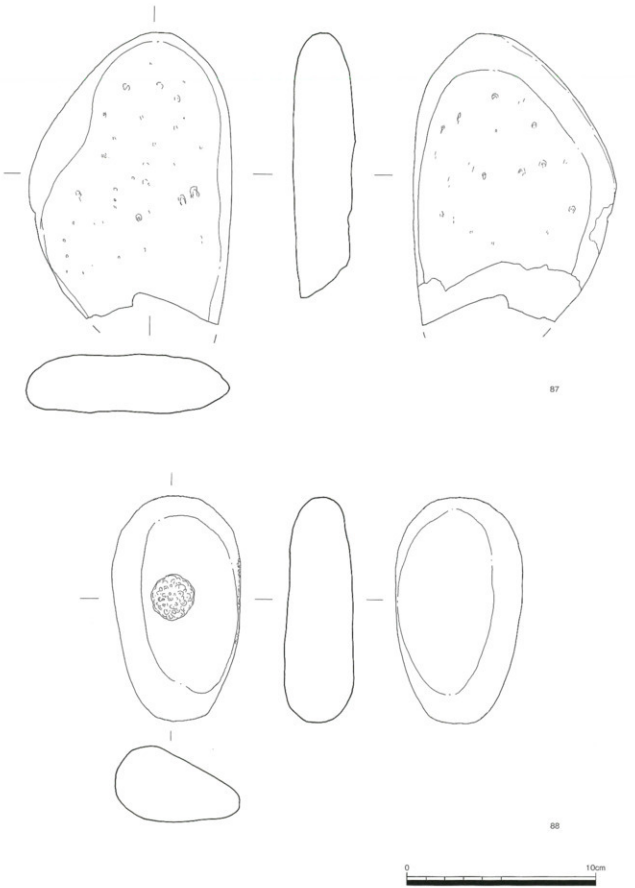


図62　9層出土遺物実測図②(S=1/2)

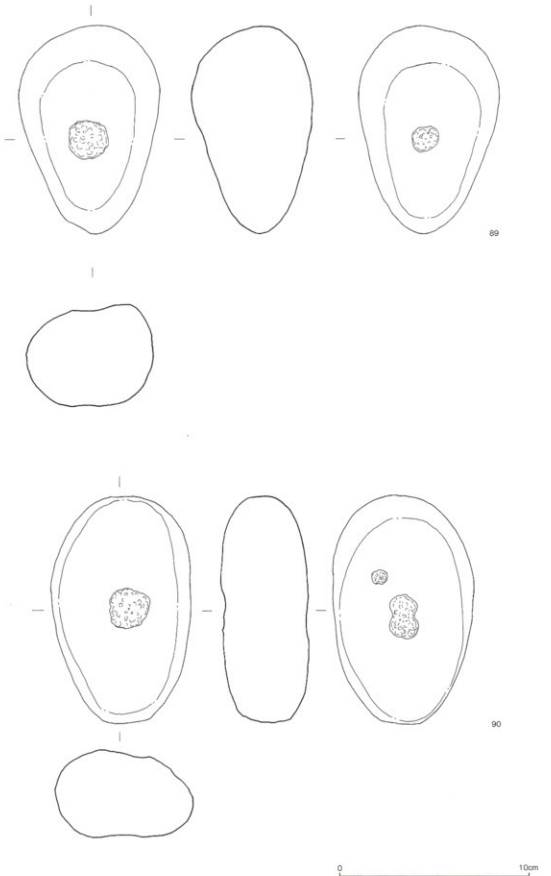


図63　9層出土遺物実測図㉒(S=1/2)

図64　9層出土遺物実測図㉒(S=1/2)

観察表１

図番	取上げ№	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区別
1	16 他	杯	1/3残存 復元口 14.25cm 高4.1cm	坏部	2.5Y7/3	2.5Y6/2	5Y6/1	底 2.5Y7/1	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を若干含む	セ・白・黒	内3/4転ナデのちマメツ 外3/4転ナデのちマメツ 口唇ヨコナデ	不良 反転 煩恵器	-C-15の17、 05-B-15の15 と同一個体	6層	-B-15
2	5	甕		胴部	10YR5/1	10YR6/2	2.5Y5/3・ 7.5YR6/3		微砂粒をわずかに含む	白・黒・他	内タタキ	上下焼き 疑問 煩恵器		6層	-C-14
3	12	壺		口	7.5YR6/2	10YR6/2	7.5YR5/2		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 口唇ナデ	良好 焼き疑問		6層	錦濃 調査区
4	36	甕	1/1残存 底9.1cm	底部	7.5YR5/2	7.5YR5/2	5P5/1・ 7.5YR6/2	脚内 7.5YR5/2	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 脚端ヨコナデ・ナデ 脚内工具によるナデのちナデ	良好 反転 9層の物が 6層にあがってきた!		6層	-D-15
5	9	甕	2/3残存 底7.8cm	底部	5YR6/1	7.5YR6/1・ 10R5/1	7.5Y6/1・ 5YR7/6		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ナデ・ユビオサエ 脚端ヨコナデ 脚内工具によるナデのちナデ	良好 反転		6層	-A-15
6	5	甕		口～胴	7.5YR5/2・ 10R5/4	5YR6/2	7.5YR4/1		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内工具によるナデのちナデ 外工具によるナデのちナデ 口唇ヨコナデ	良好		6層	-A-14
7	36	人形 土製品	高3.5cm		7.5YR7/6 10YR5/1		10YR6/2							6層	錦濃 調査区
8	12	台石	長19.5cm 短17cm 厚7cm 重4000g	安山岩										6層	-B-14

図番	取上げ№	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区別
1	64	甕		口～胴	7.5YR5/2・ 10YR5/2	10YR5/2	10YR4/1・ N4/0		細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデのち棒状具によるキザミ	良好 焼き疑問		8層	-D-15
2	59	甕	1/1残存 底8.8cm	底部	10YR6/3	10YR5/2	7.5YR5/1	底 7.5YR6/3	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 脚端ヨコナデ 脚内ナデ	良好 反転		8層	-D-14
3	178	甕	4/5残存 復元底8.1cm	底部	5YR5/2	5YR5/3	7.5YR4/1	底 2.5YR5/2	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内工具によるナデのちナデ 外工具によるナデのちナデ 脚端ヨコナデ 脚内ナデ	良好 反転		8層	-D-14
4	78	甕	底4cm	底部	7.5YR5/2	5YR5/1	2.5YR5/2	脚内 2.5Y5/1	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 脚端ヨコナデ 脚内ナデ	良好 反転		8層	-D-14
5	82	甕	1/1残存 底11cm	底部	10YR5/2	10R5/1	7.5YR6/2	脚内 7.5YR5/2	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 脚端ヨコナデ 脚内工具によるナデのちナデ	良好 接合直		8層	-D-14
6	158	甕	1/1残存 底7.6cm	底部	7.5YR7/2・ 2.5Y5/1	10R4/1	10YR6/2	脚内 2.5YR5/1	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 脚端ヨコナデ 脚内ナデ	良好		8層	-D-14
7	173	鉢	1/2残存 底6cm	底部	10YR6/2・ 5P5/1	7.5YR5/2	10YR5/2	底 10YR5/2	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・ 黒	内ナデ 外ナデ・ユビオサエのちナデ 脚端ユビオサエのちナデ・ヨコナデ 脚内ナデ	良好 反転		8層	-D-14

観察表２

図番	取上げNo	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区画
8	47	ﾐﾆﾁｭｱ鉢	胴1/1残存 底4cm	底～胴	5YR6/2・10YR5/2	2.5YR4/1	10YR5/1	底 10YR6/2	細・微砂粒を若干含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 底ナデ	良好		8層	-D-14
9	48	高坏	脚1/1残存 復元底17cm	脚～底	5RP6/1・10YR6/2	7.5YR5/2	2.5YR5/1	脚内 10R5/2	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ 外ナデ・スカシ 脚間ヨコナデ 脚内ナデ	良好 反転		8層	-D-15
10	74	高坏		脚部	2.5YR5/2・10YR6/2		10YR6/2・2.5YR5/2	脚内 2.5Y5/1	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	外工具によるナデのちナデ 脚内粘土塊・ナデ	良好 接合痕		8層	-D-14
11	39	高坏	1/1残存	脚部	7.5YR6/3		7.5YR5/2	脚内 2.5YR4/1	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	外ナデ 脚内無調整・ナデ	良好 接続痕		8層	-D-15
12	117	埋	1/1残存 底5cm 胴12.6cm	胴～底	5YR5/3	7.5YR6/3	5YR7/3	底 7.5YR6/3	細・微砂粒を若干含む	カ・セ・白・黒	外ナデ 底ナデ	良好 接合痕		8層	-D-14
13	100	埋	1/1残存 底4.7cm	底部	7.5YR5/1	7.5YR5/2	7.5YR5/2	底 10YR6/2	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内工具によるナデ・粘土塊 外ナデ 底ナデ	良好		8層	-D-14
14	87	軽石 加工品	長7.4cm 短3.6cm 厚3cm 重18.2g	軽石										8層	-D-14
15	89	軽石 加工品	長7.3cm 短5.2cm 厚3.3cm 重29.5g	軽石										8層	-D-14
16	105	軽石 加工品	長9.5cm 短6.1cm 厚2.4cm 重25.5g	軽石										8層	-D-14

図番	取上げNo	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区画
1	85	甕		口～突	5YR5/1・7.5YR6/2	7.5YR5/2	2.5Y6/2		細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ・ナデ 口唇ヨコナデ 突ツマミのち棒状具によるキザミ	良好		9層	-C-14
2	111	甕		突～胴	5YR5/2・7.5YR5/1	10YR6/2	10YR5/1		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・白・黒・他	内ハケメのちナデ 外ハケメのちナデ 突ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	-C-14
3	139	甕		口～突	7.5YR5/2	7.5YR6/3	N4/0		砂粒を若干含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ・ユビオサエ 外工具によるナデのちナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好 傾き疑問 単独生?		9層	-C-14
4	290-1	甕		口	7.5YR6/3	10YR6/2・2.5Y5/1	10YR5/1		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内工具によるナデのちナデ・ユビオサエのちナデ 外工具によるナデのちナデ 口唇ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	-D-14
5	305	甕		口	10YR6/3	10YR5/2	2.5Y5/2		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒	内ユビオサエのちハケメのちナデ・ハケメのちナデ 外ユビオサエのちハケメのちナデ・工具によるナデのちナデ 口唇ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	-D-14
6	302	甕	1/4残存 復元口 23.5cm	口～胴	2.5YR5/3・N4/0	10R5/2	5YR5/2		細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデのち棒状具によるキザミ	良好 棒状具の幅約1cm		9層	-D-14

観察表３

図番	取上げ№	器種	残存法量	部位	色外	色内	色角	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区域
7	25 他	要	1/4残存 復元口29cm	口～胴	2.5YR5/3· 10R4/1	5YR5/2· 10YR6/2	5YR5/1		細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ミガキ 外ミガキ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好	Cの12 -D-14の229	9層	C
8	236	要		口～胴	5YR6/3· 10YR5/1	2.5YR5/2	2.5YR5/2		細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ミガキ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデのち棒状具による キザミ	良好		9層	-D-14
9	266	要		口～胴	2.5YR5/3	2.5YR5/3	10R4/1		砂粒をわず かに含む 細・微砂粒 を若干含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ 突ツマミのちナデ	良好 傾き疑問		9層	-D-15
10	15 他	要		口～胴	2.5YR5/2	7.5YR6/3	5YR5/1		細・微砂粒 を若干含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ミガキ 外ミガキ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好	Aの14	9層	A
11	46	要		口～突	2.5YR5/3	10R5/3	5YR5/2		砂粒をわず かに含む 細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内工具によるナデのちナデ 外工具によるナデのちナデ・ ナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデのちキザミ	良好 傾き疑問		9層	E
12	34	要		口～突	10YR5/1	7.5YR6/3	N4/0· 2.5Y5/1		細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内工具によるナデのちナデ 外工具によるナデのちナデ・ ナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	F
13	259	要		口～突	5YR5/2	5YR5/2	10R4/1		細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ハケメのちナデ・ハケメ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデのち棒状具による キザミ	良好 傾き疑問		9層	-D-15
14	80	要		口～突	2.5YR5/2	2.5YR6/4· 7.5YR6/2	10R5/2		砂粒をわず かに含む 細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ハケメのちナデ・ナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	-D-15
15	9	要		口～突	10R5/2	2.5YR5/2	10R5/2	底 7.5YR5/1	細・微砂粒 を含む	カ・白・黒・ 他	内ナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	A
16	265	要		口～突	7.5YR6/3	10YR6/2· 5YR5/3	7.5YR6/2		細・微砂粒 を含む	カ・セ・他	内ナデ 外貼土ハリツケのちナデ・ナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好 接合痕		9層	-D-14
17	11	要		口～突	5YR5/3	10YR6/2	10YR6/2		細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ 突ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	B
18	290-2	要		口～胴	7.5YR6/2	2.5YR5/3	7.5YR6/2· 2.5YR5/3		細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ	良好 傾き疑問		9層	-D-14
19	248	要	1/1残存 底9.3cm	底部	7.5YR6/2	7.5YR5/1· N4/0	5YR5/1	底 10R4/1	細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ナデ 脚端ヨコナデ 脚内ナデ	良好		9層	-D-14
20	2	要	1/2残存 底6.6cm	底部	5YR5/2	7.5Y6/1	5YR6/2	底 5YR6/3	細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ナデ・ユビオサエ 底ナデ	良好 反転		9層	A
21	123	要	1/1残存 底7.2cm	底部	5YR6/2· 10YR6/2	7.5YR5/1	7.5YR5/1	底 7.5YR5/2	細・微砂粒 を含む	カ・白・黒・ 他	内ナデ 外ナデ 脚端ヨコナデ 脚内ナデ	良好		9層	-C-14
22	263	要	1/1残存 底9.7cm	底部	7.5YR6/3	5YR5/2	5YR5/2	底 2.5Y5/1	細・微砂粒 を含む	カ・セ・白・ 黒・他	内ナデ 外ナデ 脚端ヨコナデ 脚内ナデ	良好		9層	-D-15

観察表4

掲番	取上げ№	器種	残存法量	部位	色外	色内	色胎	色釉	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区画
23	144	甕	底1/1残存 胴1/5残存 底部8.3cm	底～胴	2.5YR5/2	7.5YR5/2	2.5YR5/1	赤5YR5/2	砂粒をわずかに含む 斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:工具によるナデのちナデ	良好 反転		9層	-D-15
24	276	甕	3/4残存 復元底径9cm	底部	5YR5/2	5YR5/2	5YR5/1	胴内 5YR5/2	砂粒をわずかに含む 斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ・ナデ・ハケラク 胴端:ハケラク 胴内:ナデ	良好		9層	-D-14
25	287	甕	1/1残存 底径2cm	底部	7.5YR5/2	5YR5/1	10YR5/3	底 2.5YR4/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ 胴部:ナデ 胴内:工具によるナデのちナデ	良好		9層	-D-14
26	231	甕	1/1残存 底径2cm	底部	7.5YR5/2	7.5YR4/1	5YR5/3	底 10YR5/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴部:ヨコナデ 胴内:工具によるナデのちナデ	良好		9層	-D-14
27	84	甕	1/1残存 底径cm	底部	5YR6/2	10YR5/2	5YR5/2	底 10YR5/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:ナデ	良好 反転		9層	C
28	50	甕	1/2残存 復元底径7cm	底部	5YR5/2	5YR4/1	10R5/2	底 7.5YR5/2	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:ナデ	良好		9層	F
29	312	甕	1/3残存 復元底径6cm	底部	7.5YR6/2	5YR5/2	5YR6/2	底 10YR5/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:工具によるナデのちナデ・ナデ	良好		9層	-D-14
30	328	甕	4/5残存 復元底径6cm	底部	7.5YR6/2・10YR6/1	5YR5/2	2.5YR5/3	底 7.5YR5/2	砂粒を若干含む 斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ナデ 胴内:ナデ	良好		9層	-D-14
31	80	甕	1/1残存 底9cm	底部	2.5YR5/2・7.5YR5/1	N4/0・10YR5/1	5YR5/1・10YR5/1	底 N4/0 5YR5/2	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:工具によるナデのちナデ	良好		9層	順溝調査区
32	38	甕	1/1残存 底径6cm	底部	7.5YR5/2	N4/0	10YR5/1	底 5Y6/1	砂粒をわずかに含む 斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴部:工具によるナデのちナデ 胴内:ナデ	良好 反転		9層	E
33	31	甕	1/1残存 底径7.4cm	底部	7.5YR5/2	5YR5/2	2.5YR5/1	底 2.5Y5/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:ナデ	良好		9層	F
34	41	甕	1/4残存 復元底径9cm	底部	7.5YR5/2	5YR5/1	5YR5/1	底 7.5YR5/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ナデ 胴内:工具によるナデ	良好 反転復元		9層	F
35	329	甕	1/1残存 復元底径cm	底部	7.5YR5/2	7.5YR5/2・N4/0	7.5YR5/1	底 7.5R5/2・10YR5/2	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:ナデ	良好 反転		9層	-D-14
36	12	甕	1/1残存 底径8.5cm	底部	7.5YR6/2	10YR5/1	7.5YR5/2	胴内 7.5YR5/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ナデ 胴内:工具によるナデ	良好		9層	E
37	4	甕	1/1残存 底径8.5cm	底部	10YR6/2	7.5YR4/1	7.5YR6/2	胴内 2.5Y5/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:ナデ	良好 反転 接合痕		9層	C
38	331	甕	1/1残存 底径9cm	底部	5YR5/3	10YR5/1	7.5YR5/1	胴内 10R4/1	斑・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 胴端:ヨコナデ 胴内:工具によるナデ	良好		9層	-D-14

観察表5

図番	数量/%.	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	備考	出土層	調査区図
39	3	甕	1/2残存 復元底径8cm	底部	10YR6/2	N4/0	7.5YR5/1・ 5YR4/1	断内 5YR5/2	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 指頭コロナデ 断内:工具によるナデのちナデ	良好 反転		9層	C
40	37	甕ミニチュア	底4/5残存 復元底4.6cm		N5/0・ 2.5YR5/1	2.5YR5/2	5YR5/2	底 10YR4/1	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を若干含む	白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデ 指頭ナデ 断内:無調整	良好 反転		9層	E
41	296	鉢	底1/1残存 肌1/2残存 残4.7cm 口13.7cm 高58.5cm	口～底	7.5YR6/3・ 10R5/1	7.5YR5/2・ N4/0	7.5YR6/2	底 7.5YR5/2・ 10YR5/1	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ 底:ナデ	良好		9層	-D-14
42	184	鉢	1/1残存 底3.2cm	底部	7.5YR5/2	7.5YR5/2	5YR5/1	底 5YR5/1 10Y4/2	砂粒を若干含む 細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ・工具によるナデのちナデ 指頭コロナデ 断内:ナデ	良好		9層	-D-14
43	56	鉢ミニチュア	底1/2残存 胴1/2残存 復元底径4.9cm	底～胴	2.5Y5/2・ 7.5YR5/2	7.5YR5/2	10YR5/2	底 7.5YR6/3	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ 指頭ヨコナデ 断内:ナデ	良好 反転		9層	-C-14
44	199	鉢	底1/4残存 復元底6.1cm	底部	5YR6/2	7.5YR5/2	10R5/2・ 10YR5/2		細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ 指頭・ナデ 底:ナデ	良好 反転		9層	-D-15
45	266	鉢?	1/2残存 復元残7.8cm	底部	5R5/1・ 5YR5/2	10R4/1	7.5YR5/1	底 10YR5/1	細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ハクラク・工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ・ナデ 指頭:ハクラク 断内:ナデ	良好 反転復元		9層	-D-14
46	228 他	壺	1/1残存 口12.6cm	口～頸	5YR5/2	2.5YR5/2	5R4/1		細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ 口唇:ヨコナデ	良好	-D-14の234	9層	-D-14
47	326	壺		口	10R6/3	2.5YR5/2	5YR5/2		細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:ナデ 口唇:ヨコナデ	良好		9層	-D-14
48	27	壺		口	5YR5/2	5YR5/2	5YR5/1		細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:ナデ 口唇:ヨコナデ	良好 焼き疑問		9層	-C-14
49	165	壺		胴	5YR6/3	2.5YR5/2	5YR5/1		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ・ナデ 突:ヨコナデのちへの字ナデ	良好 焼き疑問		9層	-D-15
50	264	壺		頸部～ 屈曲部	2.5R5/2	10R5/2	10R5/2		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	七・白・黒・他	内:ナデ 外:ヨコナデのちヘギミ+竹管文	良好		9層	-D-14
51	151	壺		頸完形	–	–	–		細・微砂粒を含む	七・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 突:ヨコナデのちへの字ヘギミ+竹管文	良好		9層	-D-14
52	43	壺	1/2残存 胴21.6cm	胴～突	5YR5/3・ 10R5/1	5YR5/1	5YR5/1		砂粒を含む 細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒	内:マメツ 外:工具によるナデのちナデ 突:ヨコナデのちヒラ状具によるへの字ヘギミ	良好		9層	F
53	309	壺	1/2残存 復元胴 26.7cm	胴部	2.5YR5/3・ 5R5/1	5YR5/2	2.5Y4/2・ 2.5YR5/1		砂粒を含む 細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデのちマメツ	良好		9層	-D-14
54	234-1 他	壺	1/1残存 底4cm	底～胴	7.5R5/2・ 2.5Y5/1	10R5/3	7.5R5/1	底 5YR5/2	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・七・白・黒	内:ナデ 外:ナデ 底:無調整	良好	-D-14の228	9層	-D-14

観察表６

図番	取上げ%	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色焦	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区別
55	16	壺	底1/1残存	底部	7.5YR5/2	7.5YR5/2	2.5YR5/2	底 7.5YR5/2	細・微砂粒を含む	セ・白・黒・他	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 底ナデ	良好 反転		9層	E
56	330	壺	1/2残存	底部	5YR6/2	10YR5/1	10YR6/1	底 2.5YR6/2	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒	内ナデ 外工具によるナデのちナデ 底:無調整	良好 反転		9層	-D-14
57	304	壺	1/2残存 復元底9cm	底部	7.5YR5/2	2.5YR5/1	5YR5/3	底 10YR5/2	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内工具によるナデのちナデ 外工具によるナデのちナデ 底ナデ	良好 反転		9層	-D-14
58	78	壺	5/6残存 復元底45cm	底部	5YR5/3	2.5YR5/3・2.5Y5/2	10YR5/1		細・微砂粒を含む	カ・セ・黒・他	内工具による荒いナデ 外工具によるナデのちナデ 底ナデ	良好 反転		9層	-C-14
59	235 他	高坏	3/5残存 復元口 19.8cm	杯部	5YR5/3・10YR6/2	2.5YR5/3・7.5YR6/2	7.5R5/2		細・微砂粒を若干含む	カ・白・黒・他	内ナデ 外ナデ 脚部内面ナデ	良好 反転 接合痕	Eの32, Eの33	9層	-D-14
60	295	高坏	1/3残存	坏部	2.5YR5/3・5YR6/3	2.5YR5/4	5YR5/2		細・微砂粒を若干含む	カ・セ・白・黒・他	内ミガキ・赤色塗彩 外ミガキ・赤色塗彩	良好		9層	-D-14
61	76	高坏	1/6残存	坏部	2.5YR5/4	2.5YR5/4	2.5YR5/3		細・微砂粒をわずかに含む	カ・セ・白・黒・赤	内ミガキ・赤色塗彩 外ミガキ・赤色塗彩 口唇ヨコナデ	良好 煤熱疑問		9層	-D-15
62	288	高坏		杯部	7.5YR5/2	7.5YR5/2	7.5R5/1		細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ	良好 煤熱疑問		9層	-D-14
63	75	高杯		坏部	2.5YR5/3	2.5YR5/3・2.5Y5/2	2.5YR5/3		砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を若干含む	カ・セ・白・黒・他	内工具によるナデのちナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ	良好		9層	C
64	18	高杯 or壺		口	2.5YR5/2	5YR5/2	7.5YR6/2		細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ 外ナデ 口唇ヨコナデ	良好 煤熱疑問		9層	C
65	224	高坏	4/5残存 底17.6cm	脚部	7.5YR5/2		10YR5/1・2.5YR7/3	脚内 2.5YR6/4 10YR5/1	細・微砂粒を若干含む	カ・セ・白・黒	外ミガキ・赤色塗彩 脚連ヨコナデ 脚内ナデ・赤色塗彩	良好 反転 接合痕		9層	-D-14
66	291	高坏	1/1残存 底12.2cm	脚部	10R6/2・2.5YR5/3		10R5/2	脚内 5YR4/1	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒	外ナデ 脚連ヨコナデ 脚内ナデ	良好		9層	-D-14
67	13	高杯		脚部	5YR6/3		7.5YR5/2	脚内 5YR5/3	細・微砂粒を含む	カ・白・黒・他	外工具によるナデのちナデ 脚内ナデ	良好 接合痕		9層	C
68	158	高坏	1/1残存	脚部	5YR5/2・10YR6/1	7.5YR5/2	7.5YR5/2	脚内 N4/0	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内ナデ 外ナデ 脚内ナデ	良好 反転 接合痕		9層	-D-15
69	5	高杯		脚部	7.5YR6/3	7.5YR6/3	10YR5/1	脚内 10YR5/1	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	外ナデ 脚内ナデ	良好 反転		9層	D
70	3	高杯	1/1残存	脚部	10YR5/2		2.5Y5/1	脚内 N4/0	細・微砂粒を若干含む	白・黒・他	外ナデ 脚内ナデ・無調整	反転		9層	E

観察表７

図番	取上げNo	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	異型区区別
71	306	高坏	1/1残存 高さ6cm	脚部	5YR6/3		5YR6/3	脚内 5YR4/1	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	外:ナデ 脚内:ナデ	良好 反転 接合痕		9層	-D-14
72	102	高坏	1/1残存	脚部	5YR5/2・10YR5/2	5YR5/2	5YR5/2	脚内 7.5YR5/1	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:無調整 外:ナデ 脚内:無調整・ナデ	良好 反転 接合痕		9層	-D-15
73	69	高杯		脚部	2.5YR5/6	7.5YR5/2	2.5YR5/2	脚内 2.5YR5/2	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:無調整・ナデ 外:ナデ・工具によるナデのちナデ 脚内:無調整・ナデ	良好		9層	D
74	48	高杯	1/2残存 復元底9.2cm	脚部	7.5YR6/3	10YR6/2	7.5YR6/2	脚内 2.5Y5/1	細・微砂粒を若干含む	カ・セ・白・黒	内:工具によるナデ 外:工具によるナデのちナデ 脚端:ココナデ 脚内:工具によるナデ	良好		9層	D
75	227	高坏	1/1残存 底7.5cm	脚部	10YR6/2	5YR5/2	2.5Y5/1・5YR5/2	脚内 2.5Y5/1	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:工具によるナデのちナデ 脚端:ココナデ 脚内:工具によるナデのちナデ	良好		9層	-D-14
76	23	高杯		脚部	7.5YR5/3		7.5YR5/1		細・微砂粒を若干含む	カ・セ・白・黒・他	外:ハケメのちナデ	良好		9層	D
77	116	高坏	1/1残存 底9.6cm	脚部	7.5YR5/2・2.5YR6/2	10Y5/1	10YR5/1	底 2.5Y5/1	細・微砂粒を含む	カ・白・黒・他	内:ナデ 外:工具によるナデのちナデ 脚端:ココナデ 脚内:工具によるナデのちナデ	良好		9層	-C-14
78	49	壷		口	2.5YR5/3	5YR5/2・10R5/1	2.5YR5/2		細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:ナデ 外:ナデ 口唇:ココナデ	良好		9層	-C-14
79	247	壷	1/1残存 底4cm 胴8.2cm	頸～底	5YR5/3	2.5YR6/2	5YR5/2	底 5YR5/2	細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデ 外:ナデ 底:ナデ	良好		9層	-D-14
80	14	壷or甕	1/1残存 底5.2cm	底部	7.5YR6/3	5YR5/2・10YR5/2	5P5/1	底 5YR5/3	砂粒をわずかに含む 細・微砂粒を含む	カ・セ・白・黒・他	内:工具によるナデのちナデ 外:ナデ 底:ナデ	良好		9層	F
81	4	底恵器杯蓋	5/6残存	略完形	－	－	－	－	微砂粒をわずかに含む	白・他	本文参照	良好		9層	A
82	－	底恵器台付長脚蓋	1/1残存	略完形	－	－	－	－	微砂粒をわずかに含む	白・他	本文参照	良好		7層中	-D-14
83	324	不明		胴部	10YR5/1	N5/0	7.5YR5/1		微砂粒をわずかに含む		内:タタキ 外:ナデ	やや不良 内面にタタキ目が残る 底恵器		9層	-D-14
84	254	鉄器	長2.7cm 短0.4cm 厚0.3cm 重1.8g	基部										9層	-D-14
85	18	軽石加工品	長8.9cm 短5.5cm 厚4cm 重50.8g	軽石								全面マメン		9層	A
86	240	軽石加工品	長9.4cm 短7.5cm 厚3.6cm 重55.1g	軽石										9層	-D-14

観察表８

図番	取上げ No.	器種	残存法量	部位	色外	色内	色肉	色他	胎土粒	混和材	調整	その他	接合	出土層	調査区区画
87	315	軽石 加工品	長15.5cm 短10.7cm 厚3cm 重185.8g	軽石										9層	-D-14
88	325	凹石 (?)	長1.2cm 短6.6cm 厚4cm 重461.5g	安山岩								打痕がある石		9層	-D-14
89	152	凹石	長11cm 短7.4cm 厚6.4cm 重687.5g	安山岩										9層	-D-15
90	10	ハンマー?	長12cm 短7.4cm 厚4.6cm 重661.6g	安山岩										9層	E
91	241	凹石	長7.8cm 短6.5cm 厚6.5cm 重478g	安山岩										9層	-D-15
92	8	軽石 加工品	長9.5cm 短3.6cm 厚4.6cm 重104.4g	軽石								一面のみ 画面をもつ		9層	E
93	48	台石	長12.6cm 短1.1cm 厚9cm 重2242.4g	安山岩								打痕がある 面をもつ自 然礫を利用		9層	E
94	23	台石	長10.9cm 短5.6cm 厚7.2cm 重648.8g	安山岩								裏面を最打 痕が残る 台石,ＯＲ石 鉱の破片か?		9層	F

出土遺物台帳 1

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
1	側溝調査区	土器	6層	
2	側溝調査区	土器	6層	
3	側溝調査区	土器	6層	
4	側溝調査区	土器	6層	
5	側溝調査区	土器	6層	
6	側溝調査区	土器	6層	
7	側溝調査区	土器	6層	
8	側溝調査区	土器	6層	
9	側溝調査区	土器	6層	
10	側溝調査区	土器	6層	
11	側溝調査区	土器	6層	
12	側溝調査区	土器	6層	6層-3
13	側溝調査区	土器	6層	
14	側溝調査区	土器	6層	
15	側溝調査区	土器	6層	
16	側溝調査区	自然礫	6層	
17	側溝調査区	自然礫	6層	
18	側溝調査区	自然礫	6層	
19	側溝調査区	自然礫	6層	
20	側溝調査区	自然礫	6層	
21	側溝調査区	土器	6層	
22	側溝調査区	土器	6層	
23	側溝調査区	土器	6層	
24	側溝調査区	土器	6層	
25	側溝調査区	土器	6層	
26	側溝調査区	土器	6層	
27	側溝調査区	土器	6層	
28	側溝調査区	土器	6層	
29	側溝調査区	土器	6層	
30	側溝調査区	土器	6層	
31	側溝調査区	土器	6層	
32	側溝調査区	土器	6層	
33	側溝調査区	土器	6層	
34	側溝調査区	土器	6層	
35	側溝調査区	土器	6層	
36	側溝調査区	人形土製品	6層	6層-7
37	側溝調査区	土器	6層	
38	側溝調査区	土器	6層	
39	側溝調査区	土器	6層	
40	側溝調査区	土器	6層	
41	側溝調査区	土器	6層	
42	側溝調査区	土器	6層	
43	側溝調査区	土器	6層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
44	側溝調査区	土塊	6層	
45	側溝調査区	土器	6層	
46	側溝調査区	土器	6層	
47	側溝調査区	土器	6層	
48	側溝調査区	土器	6層	
49	側溝調査区	土器	6層	
50	側溝調査区	土器	6層	
51	側溝調査区	土器	6層	
52	側溝調査区	土器	6層	
53	側溝調査区	土器	6層	
54	側溝調査区	土器	6層	
55	側溝調査区	土器	6層	
56	側溝調査区	土器	6層	
57	側溝調査区	土器	6層	
58	側溝調査区	土器	6層	
59	側溝調査区	土器	6層	
60	側溝調査区	土器	6層	
61	側溝調査区	土器	6層	
62	側溝調査区	土器	6層	
63	側溝調査区	土器	6層	
64	側溝調査区	土器	6層	
65	側溝調査区	軽石	6層	
66	側溝調査区	土器	6層	
67	側溝調査区	土器	6層	
68	側溝調査区	土器	6層	
69	側溝調査区	土器	6層	
70	側溝調査区	土器	6層	
71	側溝調査区	土器	6層	
72	側溝調査区	土器	6層	
73	側溝調査区	土器	6層	
74	側溝調査区	軽石	6層	
75	側溝調査区	土器	6層	
76	側溝調査区	自然礫	6層	
77	側溝調査区	自然礫	6層	
78	側溝調査区	土器	6層	
79	側溝調査区	土器	9層	
80	側溝調査区	土器	9層	9層-31
81	側溝調査区	土器	9層	
82	側溝調査区	軽石	9層	
83	側溝調査区	土器	9層	
84	側溝調査区	土器	9層	
85	側溝調査区	土器	9層	
86	側溝調査区	土器	9層	

出土遺物台帳２

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
87	側溝調査区	土器	9層	
88	側溝調査区	土器	9層	
89	側溝調査区	土器	9層	
90	側溝調査区	土器	9層	
91	側溝調査区	軽石	9層	
92	側溝調査区	軽石	9層	
93	側溝調査区	軽石	9層	
94	側溝調査区	土器	9層	
95	側溝調査区	軽石	9層	
96	側溝調査区	自然礫	9層	
97	側溝調査区	土器	9層	
98	側溝調査区	土器	9層	
99	側溝調査区	軽石	9層	
100	側溝調査区	軽石	9層	
101	側溝調査区	軽石	9層	
102	側溝調査区	土器	9層	
103	側溝調査区	土器	9層	
104	側溝調査区	土器	9層	
105	側溝調査区	土器	9層	
106	側溝調査区	土器	9層	
107	側溝調査区	土器	9層	
108	側溝調査区	軽石	9層	
109	側溝調査区	軽石	9層	
110	側溝調査区	土器	9層	
111	側溝調査区	軽石	9層	
112	側溝調査区	軽石	9層	
113	側溝調査区	土器	9層	
114	側溝調査区	土器	9層	
115	側溝調査区	土器	9層	
116	側溝調査区	土器	9層	
117	側溝調査区	土器	9層	
118	側溝調査区	土器	9層	
119	側溝調査区	土器	9層	
120	側溝調査区	土器	9層	
121	側溝調査区	軽石	9層	
122	側溝調査区	土器	9層	
123	側溝調査区	土器	9層	
124	側溝調査区	土器	9層	
125	側溝調査区	土器	9層	
126	側溝調査区	土器	9層	
127	側溝調査区	土器	9層	
128	側溝調査区	軽石	9層	
129	側溝調査区	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
130	側溝調査区	土器	9層	
131	側溝調査区	土器	9層	
132	側溝調査区	土器	9層	
133	側溝調査区	土器	9層	
134	側溝調査区	土器	9層	
135	側溝調査区	土器	9層	
136	側溝調査区	土器	9層	
137	側溝調査区	土器	9層	
138	側溝調査区	土器	9層	
139	側溝調査区	土器	9層	
140	側溝調査区	軽石	9層	
141	側溝調査区	自然礫	9層	
142	側溝調査区	自然礫	9層	
143	側溝調査区	土器	9層	
144	側溝調査区	土器	9層	
145	側溝調査区	石器	9層	
1	側溝調査区	土器	6層	
2	側溝調査区	土器	6層	
3	側溝調査区	土器	6層	
4	側溝調査区	土器	6層	
5	側溝調査区	土器	6層	
6	側溝調査区	土器	6層	
7	側溝調査区	土器	6層	
8	側溝調査区	土器	6層	
9	側溝調査区	土器	6層	
10	側溝調査区	土器	6層	
11	側溝調査区	土器	6層	
12	側溝調査区	土器	6層	
13	側溝調査区	自然礫	6層	
14	側溝調査区	土器	6層	
15	側溝調査区	土器	6層	
16	側溝調査区	自然礫	6層	
17	側溝調査区	土器	6層	
18	側溝調査区	土器	6層	
19	側溝調査区	自然礫	6層	
20	側溝調査区	自然礫	6層	
21	側溝調査区	自然礫	6層	
22	側溝調査区	土器	6層	
23	側溝調査区	土器	6層	
24	側溝調査区	自然礫	6層	
25	側溝調査区	自然礫	6層	
26	側溝調査区	土器	6層	
27	側溝調査区	土器	6層	

出土遺物台帳3

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
28	側溝調査区	自然礫	6層	
29	側溝調査区	自然礫	6層	
30	側溝調査区	自然礫	6層	
31	側溝調査区	土器	6層	
32	側溝調査区	土器	6層	
33	側溝調査区	自然礫	6層	
34	側溝調査区	自然礫	6層	
35	側溝調査区	自然礫	6層	
36	側溝調査区	土器	6層	
37	側溝調査区	土器	6層	
38	側溝調査区	自然礫	6層	
39	側溝調査区	自然礫	6層	
40	側溝調査区	自然礫	6層	
1	Aブロック	土器	9層	
2	Aブロック	土器	9層	9層-20
3	Aブロック	土器	9層	
4	Aブロック	須恵器	9層	81
5	Aブロック	軽石	9層	
6	Aブロック	土器	9層	
7	Aブロック	土器	9層	
8	Aブロック	土器	9層	
9	Aブロック	土器	9層	9層-15
10	Aブロック	土器	9層	
11	Aブロック	石器	9層	
12	Aブロック	土器	9層	
13	Aブロック	土器	9層	
14	Aブロック	土器	9層	9層-10
15	Aブロック	土器	9層	9層-10
16	Aブロック	軽石	9層	
17	Aブロック	土器	9層	
18	Aブロック	軽石	9層	9層-85
1	A-14	土器	6層	
1	A-15	土器	6層	
2	A-15	軽石	6層	
1	-A-14	土器	6層相当砂質	
2	-A-14	自然礫	6層相当砂層	
3	-A-14	自然礫	6層相当砂層	
4	-A-14	土器	6層相当砂質	
5	-A-14	土器	6層	6層-6
6	-A-14	土器	6層相当砂層	
7	-A-14	土器	6層相当砂質	
8	-A-14	土器	6層相当砂層	
9	-A-14	土器	6層相当砂層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
1	-A-15	自然礫	6層相当砂質	
2	-A-15	土器	6層相当砂層	
3	-A-15	土器	6層相当砂質	
4	-A-15	土器	6層相当砂層	
5	-A-15	土器	6層相当砂層	
6	-A-15	土器	6層相当砂質	
7	-A-15	土器	6層相当砂層	
8	-A-15	土器	6層相当砂質	
9	-A-15	土器	6層	6層-5
10	-A-15	土器	6層	
1	Bブロック	土器	9層	
2	Bブロック	土器	6層	
3	Bブロック	土器	9層	
4	Bブロック	土器	6層	
5	Bブロック	土器	6層	
6	Bブロック	自然礫	不明	
7	Bブロック	土器	9層	
8	Bブロック	自然礫	9層	
9	Bブロック	土器	6層	
10	Bブロック	軽石	9層	
11	Bブロック	土器	9層	9層-17
12	Bブロック	土器	9層	
13	Bブロック	土器	9層	
14	Bブロック	軽石	9層	
15	Bブロック	土器	9層	
16	Bブロック	土器	9層	
17	Bブロック	土器	9層	
18	Bブロック	土器	9層	
19	Bブロック	自然礫	不明	
20	Bブロック	土器	9層	
21	Bブロック	土器	9層	
1	-B-14	軽石	6層	
2	-B-14	土器	6層	
3	-B-14	軽石	6層	
4	-B-14	土器	6層	
5	-B-14	土器	6層	
6	-B-14	自然礫	6層	
7	-B-14	土器	6層	
8	-B-14	石器	6層	
9	-B-14	土器	6層	
10	-B-14	土器	6層相当砂層	
11	-B-14	土器	6層相当砂層	
12	-B-14	石器	6層	6層-8

出土遺物台帳 4

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No
13	-B-14	石器	6層相当砂層	
14	-B-14	自然礫	6層相当砂層	
15	-B-14	土器	6層相当砂層	
16	-B-14	土器	6層相当砂層	
17	-B-14	土器	6層相当砂層	
18	-B-14	土器	6層相当砂層	
19	-B-14	土器	6層相当砂層	
20	-B-14	土器	6層相当砂層	
21	-B-14	土器	6層相当砂層	
22	-B-14	土器	6層相当砂層	
23	-B-14	土器	6層相当砂層	
24	-B-14	土器	6層相当砂層	
25	-B-14	土器	6層相当砂層	
26	-B-14	土器	6層相当砂層	
27	-B-14	土器	6層相当砂層	
28	-B-14	土器	6層相当砂層	
29	-B-14	土器	6層相当砂層	
30	-B-14	土器	6層相当砂層	
31	-B-14	土器	6層相当砂層	
32	-B-14	土器	6層相当砂層	
33	-B-14	土器	6層相当砂層	
34	-B-14	土器	6層相当砂層	
35	-B-14	土器	6層相当砂層	
36	-B-14	土器	6層相当砂層	
37	-B-14	土器	6層相当砂層	
38	-B-14	土器	6層相当砂層	
39	-B-14	土器	6層相当砂層	
40	-B-14	土器	6層相当砂層	
41	-B-14	土器	6層相当砂層	
42	-B-14	土器	6層相当砂層	
43	-B-14	土器	6層相当砂層	
44	-B-14	土器	6層相当砂層	
45	-B-14	土器	6層相当砂層	
46	-B-14	土器	6層相当砂層	
47	-B-14	土器	6層	
48	-B-14	土器	6層	
49	-B-14	自然礫	6層	
50	-B-14	自然礫	6層	
51	-B-14	土器	6層	
52	-B-14	土器	6層	
53	-B-14	土器	6層	
54	-B-14	土器	6層	
55	-B-14	土器	6層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No
56	-B-14	軽石	6層	
57	-B-14	土器	6層	
1	-B-15	土器	6層	
2	-B-15	土器	6層	
3	-B-15	自然礫	6層	
4	-B-15	土器	6層	
5	-B-15	土器	6層	
6	-B-15	土器	6層	
7	-B-15	自然礫	6層相当砂層	
8	-B-15	土器	6層相当砂層	
9	-B-15	土器	6層相当砂層	
10	-B-15	自然礫	6層相当砂層	
11	-B-15	土器	6層相当砂層	
12	-B-15	土器	6層相当砂層	
13	-B-15	土器	6層相当砂層	
14	-B-15	土器	6層相当砂層	
15	-B-15	土器	6層	6層-1
16	-B-15	土器	6層	6層-1
17	-B-15	軽石	6層	
18	-B-15	土器	6層	
19	-B-15	自然礫	6層	
20	-B-15	軽石	6層	
1	Cブロック	軽石	9層	
2	Cブロック	土器	9層	
3	Cブロック	土器	9層	9層-39
4	Cブロック	土器	9層	9層-37
5	Cブロック	軽石	9層	
6	Cブロック	土器	9層	
7	Cブロック	軽石	9層	
8	Cブロック	軽石	9層	
9	Cブロック	土器	9層	
10	Cブロック	軽石	9層	
11	Cブロック	自然礫	不明	
12	Cブロック	土器	9層	9層-7
13	Cブロック	土器	9層	9層-67
14	Cブロック	土器	9層	
15	Cブロック	土器	9層	
16	Cブロック	自然礫	不明	
17	Cブロック	自然礫	不明	
18	Cブロック	土器	9層	9層-64
19	Cブロック	軽石	9層	
20	Cブロック	土器	9層	
21	Cブロック	土器	9層	

出土遺物台帳５

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
22	Cブロック	土器	9層	
23	Cブロック	土器	9層	
24	Cブロック	土器	9層	
25	Cブロック	土器	9層	9層-7
26	Cブロック	土器	9層	
27	Cブロック	土器	9層	
28	Cブロック	自然礫	不明	
29	Cブロック	土器	9層	
30	Cブロック	土器	9層	
31	Cブロック	土器	9層	
32	Cブロック	土器	9層	
33	Cブロック	土器	9層	
34	Cブロック	軽石	9層	
35	Cブロック	自然礫	不明	
36	Cブロック	土器	9層	
37	Cブロック	土器	9層	
38	Cブロック	軽石	9層	
39	Cブロック	土器	9層	
40	Cブロック	自然礫	9層	
41	Cブロック	軽石	9層	
42	Cブロック	土器	9層	
43	Cブロック	土器	9層	
44	Cブロック	土器	9層	
45	Cブロック	軽石	9層	
46	Cブロック	土器	9層	
47	Cブロック	土器	9層	
48	Cブロック	自然礫	9層	
49	Cブロック	土器	9層	
50	Cブロック	軽石	9層	
51	Cブロック	土器	9層	
52	Cブロック	土器	9層	
53	Cブロック	軽石	9層	
54	Cブロック	土器	9層	
55	Cブロック	自然礫	9層	
56	Cブロック	軽石	9層	
57	Cブロック	自然礫	9層	
58	Cブロック	土器	9層	
59	Cブロック	土器	9層	
60	Cブロック	自然礫	不明	
61	Cブロック	土器	9層	
62	Cブロック	軽石	9層	
63	Cブロック	軽石	9層	
64	Cブロック	軽石	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
65	Cブロック	土器	9層	
66	Cブロック	土器	9層	
67	Cブロック	軽石	9層	
68	Cブロック	土器	9層	
69	Cブロック	土器	9層	
70	Cブロック	土器	9層	
71	Cブロック	軽石	9層	
72	Cブロック	土器	9層	
73	Cブロック	自然礫	9層	
74	Cブロック	土器	9層	
75	Cブロック	土器	9層	9層-63
76	Cブロック	土器	9層	
77	Cブロック	自然礫	9層	
78	Cブロック	軽石	9層	
79	Cブロック	土器	9層	
80	Cブロック	軽石	9層	
81	Cブロック	土器	9層	
82	Cブロック	土器	9層	
83	Cブロック	土器	9層	
84	Cブロック	土器	9層	9層-27
85	Cブロック	土器	9層	
1	-C-15	自然礫	不明	
2	-C-15	土器	6層	
3	-C-15	土器	6層	
4	-C-15	土器	6層	
5	-C-15	土器	6層	
6	-C-15	土器	6層	
7	-C-15	土器	6層	
8	-C-15	自然礫	不明	
9	-C-15	土器	6層	
10	-C-15	自然礫	不明	
11	-C-15	自然礫	不明	
12	-C-15	土器	6層	
13	-C-15	土器	6層	
14	-C-15	土器	6層	
15	-C-15	土器	6層	
16	-C-15	土器	6層	
17	-C-15	土器	6層	6層-1
1	-C-14	土器	6層	
2	-C-14	土器	6層	
3	-C-14	土器	6層	
4	-C-14	自然礫	不明	
5	-C-14	土器	6層	6層-2

出土遺物台帳6

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
6	-C-14	土器	6層	
7	-C-14	土器	6層	
8	-C-14	土器	6層	
9	-C-14	軽石	6層	
10	-C-14	土器	6層	
11	-C-14	軽石	6層	
12	-C-14	軽石	6層	
13	-C-14	軽石	6層	
14	-C-14	軽石	6層	
15	-C-14	土器	6層	
16	-C-14	軽石	6層	
17	-C-14	自然礫	6層	
18	-C-14	軽石	6層	
19	-C-14	軽石	6層	
20	-C-14	軽石	6層	
21	-C-14	軽石	6層	
22	-C-14	軽石	6層	
23	-C-14	軽石	6層	
24	-C-14	土器	6層	
25	-C-14	軽石	9層	
26	-C-14	土器	9層	
27	-C-14	土器	9層	9層-48
28	-C-14	土器	9層	
29	-C-14	土器	9層	
30	-C-14	土器	9層	
31	-C-14	土器	9層	
32	-C-14	土器	9層	
33	-C-14	土器	9層	
34	-C-14	土器	9層	
35	-C-14	土器	9層	
36	-C-14	土器	9層	
37	-C-14	土器	9層	
38	-C-14	土器	9層	
39	-C-14	土器	9層	
40	-C-14	土器	9層	
41	-C-14	土器	9層	
42	-C-14	石器	9層	
43	-C-14	自然礫	9層	
44	-C-14	土器	9層	
45	-C-14	土器	9層	
46	-C-14	軽石	9層	
47	-C-14	土器	9層	
48	-C-14	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
49	-C-14	土器	9層	9層-78
50	-C-14	土器	9層	
51	-C-14	土器	9層	
52	-C-14	土器	9層	
53	-C-14	土器	9層	
54	-C-14	土器	9層	
55	-C-14	土器	9層	
56	-C-14	土器	9層	9層-43
57	-C-14	土器	9層	
58	-C-14	土器	9層	
59	-C-14	土器	9層	
60	-C-14	土器	9層	
61	-C-14	土器	9層	
62	-C-14	土器	9層	
63	-C-14	土器	9層	
64	-C-14	土器	9層	
65	-C-14	土器	9層	
66	-C-14	土器	9層	
67	-C-14	土器	9層	
68	-C-14	土器	9層	
69	-C-14	土器	9層	
70	-C-14	土器	9層	
71	-C-14	土器	9層	
72	-C-14	軽石	9層	
73	-C-14	土器	9層	
74	-C-14	土器	9層	
75	-C-14	土器	9層	
76	-C-14	土器	9層	
77	-C-14	土器	9層	
78	-C-14	土器	9層	9層-58
79	-C-14	軽石	9層	
80	-C-14	土器	9層	
81	-C-14	土器	9層	
82	-C-14	土器	9層	
83	-C-14	自然礫	9層	
84	-C-14	土器	9層	
85	-C-14	土器	9層	9層-1
86	-C-14	土器	9層	
87	-C-14	土器	9層	
88	-C-14	土器	9層	
89	-C-14	土器	9層	
90	-C-14	土器	9層	
91	-C-14	土器	9層	

出土遺物台帳７

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
92	-C-14	軽石	9層	
93	-C-14	土器	9層	
94	-C-14	軽石	9層	
95	-C-14	土器	9層	
96	-C-14	石器	9層	
97	-C-14	土器	9層	
98	-C-14	土器	9層	
99	-C-14	土器	9層	
100	-C-14	土器	9層	
101	-C-14	土器	9層	
102	-C-14	土器	9層	
103	-C-14	土器	9層	
104	-C-14	土器	9層	
105	-C-14	土器	9層	
106	-C-14	土器	9層	
107	-C-14	土器	9層	
108	-C-14	土器	9層	
109	-C-14	土器	9層	
110	-C-14	土器	9層	
111	-C-14	土器	9層	9層-2
112	-C-14	土器	9層	
113	-C-14	土器	9層	
114	-C-14	土器	9層	
115	-C-14	土器	9層	
116	-C-14	土器	9層	9層-77
117	-C-14	土器	9層	
118	-C-14	土器	9層	
119	-C-14	土器	9層	
120	-C-14	自然礫	9層	
121	-C-14	土器	9層	
122	-C-14	土器	9層	
123	-C-14	土器	9層	9層-21
124	-C-14	土器	9層	
125	-C-14	自然礫	9層	
126	-C-14	土器	9層	
127	-C-14	土器	9層	
128	-C-14	土器	9層	
129	-C-14	土器	9層	
130	-C-14	土器	9層	
131	-C-14	土器	9層	
132	-C-14	土器	9層	
133	-C-14	土器	9層	
134	-C-14	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
135	-C-14	土器	9層	
136	-C-14	土器	9層	
137	-C-14	土器	9層	
138	-C-14	土器	9層	
139	-C-14	土器	9層	9層-3
140	-C-14	土器	9層	
141	-C-14	土器	9層	
142	-C-14	土器	9層	
143	-C-14	軽石	9層	
144	-C-14	土器	9層	
1	Dブロック	自然礫	9層	
2	Dブロック	土器	9層	
3	Dブロック	軽石	9層	
4	Dブロック	土器	9層	
5	Dブロック	土器	9層	9層-69
6	Dブロック	土器	9層	
7	Dブロック	自然礫	不明	
8	Dブロック	土器	9層	
9	Dブロック	土器	9層	
10	Dブロック	土器	9層	
11	Dブロック	土器	9層	
12	Dブロック	土器	9層	
13	Dブロック	土器	9層	
14	Dブロック	土器	9層	
15	Dブロック	軽石	9層	
16	Dブロック	土器	9層	
17	Dブロック	土器	9層	
18	Dブロック	軽石	9層	
19	Dブロック	土器	9層	
20	Dブロック	土器	9層	
21	Dブロック	土器	9層	
22	Dブロック	土器	9層	
23	Dブロック	土器	9層	9層-76
24	Dブロック	軽石	9層	
25	Dブロック	土器	9層	
26	Dブロック	土器	9層	
27	Dブロック	土器	9層	
28	Dブロック	軽石	9層	
29	Dブロック	軽石	9層	
30	Dブロック	土器	9層	
31	Dブロック	土器	9層	
32	Dブロック	土器	9層	
33	Dブロック	自然礫	不明	

出土遺物台帳８

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測№
34	Dブロック	土器	9層	
35	Dブロック	土器	9層	
36	Dブロック	土器	9層	
37	Dブロック	土器	9層	
38	Dブロック	土器	9層	
39	Dブロック	土器	9層	
40	Dブロック	土器	9層	
41	Dブロック	土器	9層	
42	Dブロック	土器	9層	
43	Dブロック	土器	9層	
44	Dブロック	土器	9層	
45	Dブロック	土器	9層	
46	Dブロック	土器	9層	
47	Dブロック	土器	9層	
48	Dブロック	土器	9層	9層-74
49	Dブロック	土器	9層	
50	Dブロック	土器	9層	
51	Dブロック	土器	9層	
52	Dブロック	自然礫	不明	
53	Dブロック	自然礫	不明	
54	Dブロック	土器	9層	
55	Dブロック	土器	9層	
56	Dブロック	土器	9層	
57	Dブロック	土器	9層	
58	Dブロック	土器	9層	
59	Dブロック	軽石	9層	
60	Dブロック	土器	9層	
61	Dブロック	土器	9層	
62	Dブロック	土器	9層	
63	Dブロック	土器	9層	
64	Dブロック	土器	9層	
65	Dブロック	土器	9層	
66	Dブロック	土器	9層	
67	Dブロック	土器	9層	
68	Dブロック	土器	9層	
69	Dブロック	土器	9層	9層-73
70	Dブロック	土器	9層	
71	Dブロック	土器	9層	
72	Dブロック	土器	9層	
73	Dブロック	土器	9層	
74	Dブロック	土器	9層	
75	Dブロック	土器	9層	
76	Dブロック	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測№
77	Dブロック	土器	9層	
78	Dブロック	土器	9層	
79	Dブロック	土器	9層	
80	Dブロック	土器	9層	
81	Dブロック	土器	9層	
82	Dブロック	土器	9層	
83	Dブロック	軽石	9層	
1	-D-14	土器	6層	
2	-D-14	土器	6層	
3	-D-14	土器	6層	
4	-D-14	土器	6層	
5	-D-14	土器	6層	
6	-D-14	土器	6層	
7	-D-14	石器	6層	
8	-D-14	自然礫	6層	
9	-D-14	土器	6層	
10	-D-14	土器	6層	
11	-D-14	土器	6層	
12	-D-14	自然礫	不明	
13	-D-14	土器	6層	
14	-D-14	土器	8層	
15	-D-14	土器	8層	
16	-D-14	土器	8層	
17	-D-14	土器	8層	
18	-D-14	土器	8層	
19	-D-14	土器	8層	
20	-D-14	自然礫	8層	
21	-D-14	土器	8層	
22	-D-14	土器	8層	
23	-D-14	土器	8層	
24	-D-14	自然礫	8層	
25	-D-14	土器	8層	
26	-D-14	土器	8層	
27	-D-14	土器	8層	
28	-D-14	土器	8層	
29	-D-14	土器	8層	
30	-D-14	土器	6層	
31	-D-14	土器	8層	
32	-D-14	土器	8層	
33	-D-14	土器	8層	
34	-D-14	土器	8層	
35	-D-14	土器	8層	
36	-D-14	土器	8層	

出土遺物台帳９

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
37	-D-14	土器	8層	
38	-D-14	土器	6層	
39	-D-14	土器	6層	
40	-D-14	土器	6層	
41	-D-14	土器	8層	
42	-D-14	土器	8層	
43	-D-14	軽石	8層	
44	-D-14	土器	8層	
45	-D-14	軽石	8層	
46	-D-14	土器	8層	
47	-D-14	土器	8層	8層-8
48	-D-14	土器	8層	
49	-D-14	土器	8層	
50	-D-14	土器	8層	
51	-D-14	土器	8層	
52	-D-14	土器	8層	
53	-D-14	土器	8層	
54	-D-14	土器	8層	
55	-D-14	土器	8層	
56	-D-14	土器	8層	
57	-D-14	土器	8層	
58	-D-14	土器	8層	
59	-D-14	土器	8層	8層-2
60	-D-14	土器	8層	
61	-D-14	土器	8層	
62	-D-14	土器	8層	
63	-D-14	土器	8層	
64	-D-14	土器	8層	
65	-D-14	土器	8層	
66	-D-14	土器	8層	
67	-D-14	土器	8層	
68	-D-14	土器	8層	
69	-D-14	土器	8層	
70	-D-14	土器	8層	
71	-D-14	土器	8層	
72	-D-14	土器	8層	
73	-D-14	土器	8層	
74	-D-14	土器	8層	8層-10
75	-D-14	土器	8層	
76	-D-14	土器	8層	
77	-D-14	土器	8層	
78	-D-14	土器	8層	8層-4
79	-D-14	土器	8層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
80	-D-14	土器	8層	
81	-D-14	軽石	8層	
82	-D-14	土器	8層	8層-5
83	-D-14	軽石	8層	
84	-D-14	自然礫	8層	
85	-D-14	軽石	8層	
86	-D-14	土器	8層	
87	-D-14	軽石	8層	8層-14
88	-D-14	土器	8層	
89	-D-14	軽石	8層	8層-15
90	-D-14	軽石	8層	
91	-D-14	軽石	8層	
92	-D-14	石器	8層	
93	-D-14	土器	8層	
94	-D-14	土器	8層	
95	-D-14	土器	8層	
96	-D-14	軽石	8層	
97	-D-14	土器	8層	
98	-D-14	土器	8層	
99	-D-14	土器	8層	
100	-D-14	土器	8層	8層-13
101	-D-14	土器	8層	
102	-D-14	土器	8層	
103	-D-14	土器	8層	
104	-D-14	土器	8層	
105	-D-14	軽石	8層	8層-16
106	-D-14	土器	8層	
107	-D-14	軽石	8層	
108	-D-14	土器	8層	
109	-D-14	軽石	8層	
110	-D-14	土器	8層	
111	-D-14	土器	8層	
112	-D-14	軽石	8層	
113	-D-14	軽石	8層	
114	-D-14	軽石	8層	
115	-D-14	石器	8層	
116	-D-14	軽石	8層	
117	-D-14	土器	8層	8層-12
118	-D-14	軽石	8層	
119	-D-14	土器	8層	
120	-D-14	軽石	8層	
121	-D-14	軽石	8層	
122	-D-14	軽石	8層	

出土遺物台帳10

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No
123	-D-14	土器	8層	
124	-D-14	土器	8層	
125	-D-14	土器	8層	
126	-D-14	軽石	8層	
127	-D-14	土器	8層	
128	-D-14	軽石	8層	
129	-D-14	軽石	8層	
130	-D-14	軽石	8層	
131	-D-14	軽石	8層	
132	-D-14	軽石	8層	
133	-D-14	土器	8層	
134	-D-14	軽石	8層	
135	-D-14	土器	8層	
136	-D-14	自然礫	8層	
137	-D-14	軽石	8層	
138	-D-14	軽石	8層	
139	-D-14	軽石	8層	
140	-D-14	土器	8層	
141	-D-14	土器	8層	
142	-D-14	土器	8層	
143	-D-14	土器	8層	
144	-D-14	土器	8層	
145	-D-14	軽石	8層	
146	-D-14	土器	8層	
147	-D-14	土器	8層	
148	-D-14	土器	8層	
149	-D-14	土器	8層	
150	-D-14	自然礫	不明	
151	-D-14	自然礫	不明	
152	-D-14	自然礫	不明	
153	-D-14	土器	8層	
154	-D-14	土器	8層	
155	-D-14	土器	8層	
156	-D-14	土器	8層	
157	-D-14	土器	8層	
158	-D-14	土器	8層	8層-6
159	-D-14	土器	8層	
160	-D-14	土器	8層	
161	-D-14	土器	8層	
162	-D-14	土器	8層	
163	-D-14	石器	8層	
164	-D-14	石器	8層	
165	-D-14	土器	8層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No
166	-D-14	土器	8層	
167	-D-14	土器	8層	
168	-D-14	土器	8層	
169	-D-14	土器	8層	
170	-D-14	石器	8層	
171	-D-14	土器	8層	
172	-D-14	土器	8層	
173	-D-14	土器	8層	8層-7
174	-D-14	土器	8層	
175	-D-14	土器	8層	
176	-D-14	土器	8層	
177	-D-14	土器	8層	
178	-D-14	土器	8層	8層-3
179	-D-14	自然礫	不明	
180	-D-14	自然礫	不明	
181	-D-14	土器	9層	
182	-D-14	土器	9層	
183	-D-14	軽石	9層	
184	-D-14	土器	9層	9層-42
185	-D-14	土器	9層	
186	-D-14	土器	9層	
187	-D-14	土器	9層	
188	-D-14	土器	9層	
189	-D-14	土器	9層	
190	-D-14	土器	9層	
191	-D-14	土器	9層	
192	-D-14	土器	9層	
193	-D-14	土器	9層	
194	-D-14	土器	9層	
195	-D-14	土器	9層	
196	-D-14	土器	9層	
197	-D-14	土器	9層	
198	-D-14	土器	9層	
199	-D-14	土器	9層	
200	-D-14	土器	9層	
201	-D-14	土器	9層	
202	-D-14	土器	9層	
203	-D-14	土器	9層	
204	-D-14	土器	9層	
205	-D-14	土器	9層	
206	-D-14	土器	9層	
207	-D-14	土器	9層	
208	-D-14	土器	9層	

出土遺物台帳11

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
209	-D-14	土器	9層	
210	-D-14	土器	9層	
211	-D-14	土器	9層	
212	-D-14	土器	9層	
213	-D-14	土器	9層	
214	-D-14	土器	9層	
215	-D-14	土器	9層	
216	-D-14	土器	9層	
217	-D-14	土器	9層	
218	-D-14	土器	9層	
219	-D-14	土器	9層	
220	-D-14	土器	9層	
221	-D-14	土器	9層	
222	-D-14	土器	9層	
223	-D-14	土器	9層	
224	-D-14	土器	9層	9層-65
225	-D-14	軽石	9層	
226	-D-14	石器	9層	
227	-D-14	土器	9層	9層-75
228	-D-14	土器	9層	9層-46
229	-D-14	土器	9層	9層-7
230	-D-14	土器	9層	
231	-D-14	土器	9層	9層-26
232	-D-14	土器	9層	
233	-D-14	自然礫	不明	
234-1	-D-14	土器	9層	9層-54
234-2	-D-14	土器	9層	9層-46
235	-D-14	土器	9層	9層-59
236	-D-14	土器	9層	9層-8
237	-D-14	土器	9層	
238	-D-14	土器	9層	
239	-D-14	土器	9層	
240	-D-14	軽石	9層	9層-86
241	-D-14	土器	9層	
242	-D-14	土器	9層	
243	-D-14	土器	9層	
244	-D-14	土器	9層	
245	-D-14	土器	9層	
246	-D-14	自然礫	不明	
247	-D-14	土器	9層	9層-79
248	-D-14	土器	9層	9層-19
249	-D-14	土器	9層	
250	-D-14	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
251	-D-14	土器	9層	
252	-D-14	土器	9層	
253	-D-14	土器	9層	
254	-D-14	鉄器	9層	9層-84
255	-D-14	土器	9層	
256	-D-14	石器	9層	
257	-D-14	土器	9層	
258	-D-14	土器	9層	
259	-D-14	土器	9層	
260	-D-14	土器	9層	
261	-D-14	土器	9層	
262	-D-14	土器	9層	
263	-D-14	土器	9層	
264	-D-14	土器	9層	9層-50
265	-D-14	土器	9層	9層-16
266	-D-14	土器	9層	9層-45
267	-D-14	土器	9層	
268	-D-14	土器	9層	
269	-D-14	自然礫	9層	
270	-D-14	土器	9層	
271	-D-14	土器	9層	
272	-D-14	土器	9層	
273	-D-14	土器	9層	
274	-D-14	土器	9層	
275	-D-14	土器	9層	
276	-D-14	土器	9層	9層-24
277	-D-14	土器	9層	
278	-D-14	土器	9層	
279	-D-14	土器	9層	
280	-D-14	土器	9層	
281	-D-14	土器	9層	
282	-D-14	土器	9層	
283	-D-14	土器	9層	
284	-D-14	土器	9層	
285	-D-14	土器	9層	
286	-D-14	土器	9層	
287	-D-14	土器	9層	9層-25
288	-D-14	土器	9層	9層-62
289	-D-14	土器	9層	
290-1	-D-14	土器	9層	9層-4
290-2	-D-14	土器	9層	9層-18
291	-D-14	土器	9層	9層-66
292	-D-14	土器	9層	

出土遺物台帳12

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測№
293	-D-14	土器	9層	
294	-D-14	土器	9層	
295	-D-14	土器	9層	9層-60
296	-D-14	土器	9層	9層-41
297	-D-14	土器	9層	
298	-D-14	土器	9層	
299	-D-14	土器	9層	
300	-D-14	土器	9層	
301	-D-14	土器	9層	
302	-D-14	土器	9層	9層-6
303	-D-14	土器	9層	
304	-D-14	土器	9層	9層-57
305	-D-14	土器	9層	9層-5
306	-D-14	土器	9層	9層-71
307	-D-14	土器	9層	
308	-D-14	土器	9層	
309	-D-14	土器	9層	9層-53
310	-D-14	土器	9層	
311	-D-14	土器	9層	
312	-D-14	土器	9層	9層-29
313	-D-14	土器	9層	
314	-D-14	土器	9層	
315	-D-14	軽石	9層	9層-87
316	-D-14	土器	9層	
317	-D-14	土器	9層	
318	-D-14	土器	9層	
319	-D-14	土器	9層	
320	-D-14	土器	9層	
321	-D-14	自然礫	9層	
322	-D-14	自然礫	9層	
323	-D-14	土器	9層	
324	-D-14	土器	9層	9層-83
325	-D-14	石器	9層	9層-88
326	-D-14	土器	9層	9層-47
327	-D-14	軽石	9層	
328	-D-14	土器	9層	9層-30
329	-D-14	土器	9層	9層-35
330	-D-14	土器	9層	9層-56
331	-D-14	土器	9層	9層-38
332	-D-14	土器	9層	
333	-D-14	自然礫	9層	
334	-D-14	土器	9層	
335	-D-14	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測№
336	-D-14	土器	9層	
337	-D-14	土器	9層	
338	-D-14	軽石	9層	
339	-D-14	土器	9層	
150	-D-14	土器	9層	9層-51
1	-D-15	土器	6層	
2	-D-15	土器	6層	
3	-D-15	自然礫	不明	
4	-D-15	土器	6層	
5	-D-15	土器	6層	
6	-D-15	土器	6層	
7	-D-15	土器	6層	
8	-D-15	自然礫	不明	
9	-D-15	土器	6層	
10	-D-15	土器	6層	
11	-D-15	土器	6層	
12	-D-15	土器	6層	
13	-D-15	土器	6層	
14	-D-15	土器	6層	
15	-D-15	土器	8層	
16	-D-15	土器	8層	
17	-D-15	土器	8層	
18	-D-15	土器	8層	
19	-D-15	土器	8層	
20	-D-15	土器	8層	
21	-D-15	土器	8層	
22	-D-15	土器	8層	
23	-D-15	土器	8層	
24	-D-15	土器	8層	
25	-D-15	土器	8層	
26	-D-15	土器	8層	
27	-D-15	土器	8層	
28	-D-15	土器	8層	
29	-D-15	土器	8層	
30	-D-15	土器	8層	
31	-D-15	土器	8層	
32	-D-15	土器	8層	
33	-D-15	土器	8層	
34	-D-15	土器	8層	
35	-D-15	土器	8層	
36	-D-15	土器	6層	6層-4
37	-D-15	土器	8層	

出土遺物台帳13

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
38	-D-15	土器	8層	
39	-D-15	土器	8層	8層-11
40	-D-15	土器	8層	
41	-D-15	土器	8層	
42	-D-15	土器	8層	
43	-D-15	土器	8層	
44	-D-15	土器	8層	
45	-D-15	土器	8層	
46	-D-15	土器	8層	
47	-D-15	土器	8層	
48	-D-15	土器	8層	8層-9
49	-D-15	土器	8層	
50	-D-15	土器	8層	
51	-D-15	土器	8層	
52	-D-15	土器	8層	
53	-D-15	土器	8層	
54	-D-15	土器	8層	
55	-D-15	土器	8層	
56	-D-15	土器	8層	
57	-D-15	土器	8層	
58	-D-15	土器	8層	
59	-D-15	土器	8層	
60	-D-15	土器	8層	
61	-D-15	土器	8層	
62	-D-15	土器	8層	
63	-D-15	土器	8層	
64	-D-15	土器	8層	8層-1
65	-D-15	土器	8層	
66	-D-15	土器	8層	
67	-D-15	土器	8層	
68	D 15	土器	8層	
69	-D-15	土器	8層	
70	-D-15	土器	8層	
71	-D-15	土器	8層	
72	-D-15	土器	8層	
73	-D-15	土器	8層	
74	-D-15	土器	8層	
75	-D-15	土器	8層	
76	-D-15	土器	9層	9層-61
77	-D-15	土器	8層	
78	-D-15	土器	8層	
79	-D-15	土器	8層	
80	-D-15	土器	9層	9層-14

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
81	-D-15	土器	9層	
82	-D-15	土器	9層	
83	-D-15	土器	9層	
84	-D-15	土器	9層	
85	-D-15	土器	9層	
86	-D-15	土器	9層	
87	-D-15	土器	9層	
88	-D-15	土器	9層	
89	-D-15	土器	9層	
90	-D-15	土器	9層	
91	-D-15	土器	9層	
92	-D-15	土器	9層	
93	-D-15	土器	9層	
94	-D-15	土器	9層	
95	-D-15	土器	9層	
96	-D-15	土器	9層	
97	-D-15	土器	9層	
98	-D-15	骨	9層	
99	-D-15	土器	9層	
100	-D-15	土器	9層	
101	-D-15	土器	9層	
102	-D-15	土器	9層	9層-72
103	-D-15	土器	9層	
104	-D-15	土器	9層	
105	-D-15	土器	9層	
106	-D-15	土器	9層	
107	-D-15	土器	9層	
108	-D-15	軽石	9層	
109	-D-15	土器	9層	
110	-D-15	土器	9層	
111	-D-15	軽石	9層	
112	-D-15	土器	9層	
113	-D-15	土器	9層	
114	-D-15	土器	9層	
115	-D-15	土器	9層	
116	-D-15	土器	9層	
117	-D-15	土器	9層	
118	-D-15	土器	9層	
119	-D-15	土器	9層	
120	-D-15	土器	9層	
121	-D-15	土器	9層	
122	-D-15	土器	9層	
123	-D-15	土器	9層	

出土遺物台帳14

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
124	-D-15	土器	9層	
125	-D-15	土器	9層	
126	-D-15	土器	9層	
127	-D-15	土器	9層	
128	-D-15	土器	9層	
129	-D-15	土器	9層	
130	-D-15	土器	9層	
131	-D-15	土器	9層	
132	-D-15	土器	9層	
133	-D-15	土器	9層	
134	-D-15	土器	9層	
135	-D-15	土器	9層	
136	-D-15	土器	9層	
137	-D-15	土器	9層	
138	-D-15	土器	9層	
139	-D-15	土器	9層	
140	-D-15	土器	9層	
141	-D-15	土器	9層	
142	-D-15	土器	9層	
143	-D-15	土器	9層	
145	-D-15	土器	9層	
146	-D-15	土器	9層	
147	-D-15	土器	9層	
148	-D-15	土器	9層	
149	-D-15	土器	9層	
150	-D-15	土器	9層	
151	-D-15	土器	9層	
152	-D-15	石器	9層	9層-89
153	-D-15	土器	9層	
154	-D-15	土器	9層	
155	-D-15	土器	9層	
156	-D-15	土器	9層	
157	-D-15	土器	9層	
158	-D-15	土器	9層	9層-68
159	-D-15	土器	9層	
160	-D-15	土器	9層	
161	-D-15	土器	9層	
162	-D-15	土器	9層	
163	-D-15	土器	9層	
164	-D-15	土器	9層	
165	-D-15	土器	9層	9層-49
166	-D-15	土器	9層	
167	-D-15	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
168	-D-15	土器	9層	
169	-D-15	土器	9層	
170	-D-15	土器	9層	
171	-D-15	土器	9層	
172	-D-15	土器	9層	
173	-D-15	土器	9層	
174	-D-15	土器	9層	
175	-D-15	土器	9層	
176	-D-15	土器	9層	
177	-D-15	土器	9層	
178	-D-15	土器	9層	
179	-D-15	土器	9層	
180	-D-15	土器	9層	
181	-D-15	土器	9層	
182	-D-15	土器	9層	
183	-D-15	土器	9層	
184	-D-15	土器	9層	
185	-D-15	土器	9層	
186	-D-15	土器	9層	
187	-D-15	土器	9層	
188	-D-15	土器	9層	
189	-D-15	土器	9層	
190	-D-15	土器	9層	
191	-D-15	土器	9層	
192	-D-15	土器	9層	
193	-D-15	土器	9層	
194	-D-15	土器	9層	
195	-D-15	土器	9層	
196	-D-15	土器	9層	
197	-D-15	土器	9層	
198	-D-15	土器	9層	
199	-D-15	土器	9層	9層-44
200	-D-15	土器	9層	
201	-D-15	土器	9層	
202	-D-15	土器	9層	
203	-D-15	土器	9層	
204	-D-15	土器	9層	
205	-D-15	土器	9層	
206	-D-15	土器	9層	
207	-D-15	土器	9層	
208	-D-15	土器	9層	
209	-D-15	土器	9層	
210	-D-15	土器	9層	

出土遺物台帳15

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
211	-D-15	土器	9層	
212	-D-15	土器	9層	
213	-D-15	土器	9層	
214	-D-15	土器	9層	
215	-D-15	土器	9層	
216	-D-15	土器	9層	
217	-D-15	土器	9層	
218	-D-15	土器	9層	
219	-D-15	土器	9層	
220	-D-15	土器	9層	
221	-D-15	土器	9層	
222	-D-15	土器	9層	
223	-D-15	土器	9層	
224	-D-15	土器	9層	
225	-D-15	土器	9層	
226	-D-15	土器	9層	
227	-D-15	土器	9層	
228	-D-15	自然礫	9層	
229	-D-15	土器	9層	
230	-D-15	土器	9層	
231	-D-15	土器	9層	
232	-D-15	土器	9層	
233	-D-15	土器	9層	
234	-D-15	土器	9層	
235	-D-15	自然礫	不明	
236	-D-15	自然礫	不明	
237	-D-15	土器	9層	
238	-D-15	土器	9層	
239	-D-15	土器	9層	
240	-D-15	土器	9層	
241	-D-15	石器	9層	9層-91
242	-D-15	土器	9層	
243	-D-15	土器	9層	
244	-D-15	土器	9層	
245	-D-15	土器	9層	
246	-D-15	土器	9層	
247	-D-15	土器	9層	
248	-D-15	土器	9層	
249	-D-15	土器	9層	
250	-D-15	土器	9層	
251	-D-15	土器	9層	
252	-D-15	土器	9層	
253	-D-15	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
254	-D-15	土器	9層	
255	-D-15	土器	9層	
256	-D-15	土器	9層	
257	-D-15	土器	9層	
258	-D-15	土器	9層	
259	-D-15	土器	9層	9層-13
260	-D-15	土器	9層	
261	-D-15	土器	9層	
262	-D-15	土器	9層	
263	-D-15	土器	9層	9層-22
264	-D-15	自然礫	不明	
265	-D-15	土器	9層	
266	-D-15	土器	9層	9層-9
267	-D-15	土器	9層	
268	-D-15	土器	9層	
-	-D-15	長腹壺	7層中	9層-82
1	Eブロック	土器	9層	
2	Eブロック	軽石	9層	
3	Eブロック	土器	9層	9層-70
4	Eブロック	自然礫	不明	
5	Eブロック	土器	9層	
6	Eブロック	自然礫	不明	
7	Eブロック	自然礫	9層	
8	Eブロック	軽石	9層	9層-92
9	Eブロック	土器	9層	
10	Eブロック	石器	9層	9層-90
11	Eブロック	自然礫	9層	
12	Eブロック	土器	9層	9層-36
13	Eブロック	土器	9層	
14	Eブロック	土器	9層	
15	Eブロック	土器	9層	
16	Eブロック	土器	9層	9層-55
17	Eブロック	坩	9層	
18	Eブロック	土器	9層	
19	Eブロック	軽石	9層	
20	Eブロック	土器	9層	
21	Eブロック	自然礫	9層	
22	Eブロック	自然礫	不明	
23	Eブロック	土器	9層	
24	Eブロック	土器	9層	
25	Eブロック	土器	9層	
26	Eブロック	土器	9層	
27	Eブロック	自然礫	9層	

出土遺物台帳16

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
28	Eブロック	土器	9層	
29	Eブロック	自然礫	不明	
30	Eブロック	自然礫	不明	
31	Eブロック	自然礫	9層	
32	Eブロック	土器	9層	9層-59
33	Eブロック	土器	9層	9層-59
34	Eブロック	土器	9層	
35	Eブロック	石器	9層	
36	Eブロック	自然礫	不明	
37	Eブロック	土器	9層	9層-40
38	Eブロック	土器	9層	9層-32
39	Eブロック	自然礫	不明	
40	Eブロック	土器	9層	
41	Eブロック	土器	9層	
42	Eブロック	自然礫	9層	
43	Eブロック	自然礫	9層	
44	Eブロック	軽石	9層	
45	Eブロック	土器	9層	
46	Eブロック	土器	9層	9層-11
47	Eブロック	石器	9層	
48	Eブロック	石器	9層	9層-93
49	Eブロック	自然礫	不明	
50	Eブロック	自然礫	不明	
51	Eブロック	自然礫	不明	
52	Eブロック	自然礫	不明	
53	Eブロック	自然礫	不明	
1	Fブロック	自然礫	不明	
2	Fブロック	土器	9層	
3	Fブロック	土器	9層	
4	Fブロック	土器	9層	
5	Fブロック	土器	9層	
6	Fブロック	軽石	9層	
7	Fブロック	土器	9層	
8	Fブロック	土器	9層	
9	Fブロック	土器	9層	
10	Fブロック	土器	9層	
11	Fブロック	土器	9層	
12	Fブロック	土器	9層	
13	Fブロック	土器	9層	
14	Fブロック	土器	9層	9層-80
15	Fブロック	土器	9層	
16	Fブロック	土器	9層	
17	Fブロック	土器	9層	

取上番号	調査区区割	種別	層位	実測No.
18	Fブロック	土器	9層	
19	Fブロック	自然礫	不明	
20	Fブロック	自然礫	9層	
21	Fブロック	土器	9層	
22	Fブロック	土器	9層	
23	Fブロック	石器	9層	9層-94
24	Fブロック	軽石	9層	
25	Fブロック	土器	9層	
26	Fブロック	土器	9層	
27	Fブロック	土器	9層	
28	Fブロック	土器	9層	
29	Fブロック	自然礫	不明	
30	Fブロック	自然礫	不明	
31	Fブロック	土器	9層	9層-33
32	Fブロック	土器	9層	
33	Fブロック	土器	9層	
34	Fブロック	土器	9層	9層-12
35	Fブロック	土器	9層	
36	Fブロック	土器	9層	
37	Fブロック	土器	9層	
38	Fブロック	自然礫	9層	
39	Fブロック	軽石	9層	
40	Fブロック	土器	9層	
41	Fブロック	土器	9層	9層-34
42	Fブロック	軽石	9層	
43	Fブロック	土器	9層	9層-52
44	Fブロック	軽石	9層	
45	Fブロック	自然礫	不明	
46	Fブロック	土器	9層	
47	Fブロック	土器	9層	
48	Fブロック	土器	9層	
49	Fブロック	土器	9層	
50	Fブロック	土器	9層	9層-28
51	Fブロック	土器	9層	
52	Fブロック	軽石	9層	
53	Fブロック	土器	9層	
54	Fブロック	土器	9層	
55	Fブロック	土器	9層	
56	Fブロック	土器	9層	
57	Fブロック	自然礫	9層	
58	Fブロック	土器	9層	
59	Fブロック	土器	9層	

第４章　調査成果

10－１線の発掘調査では、火山災害遺跡としての価値や古墳時代の橋牟礼川遺跡と中央との関係を物語る遺物の出土など貴重な知見が得られた。以下に主な調査成果と課題を列記し、まとめとしたい。

第１節　874年３月25日の畠地と火山災害について

開聞岳噴火で埋没した平安時代の畠地が検出された。日付が特定できる古代の生産遺構の事例として特筆すべき成果であろう。

検出された遺構群は、畠、高床式建物跡、小石集積遺構、畠脇の小道、畠の中央を走る道跡、柵列跡、樹木痕跡である。橋牟礼川遺跡では、別の地点からも５層にパックされた畠が見つかっており、植物珪酸体分析の結果、イネやキビ属が検出されている。今回、検出した畠でも同様の作物が栽培されていたものと考えられる。遺構群から看取できる状況を振り返ってみたい。

畠の中央を走る道の南北側に畝が作られており、高床式倉庫は、中央を走る道に近い場所に設けられていた。畝立ての際に邪魔になった小石は、畠地の隅にまとめて廃棄していたようである。

高床式倉庫から道へはテラス状の段差がある。作物の運搬が容易になるよう工夫された可能性が考えられる。調査区中央を走る道の幅は北側の小道より広く、牛馬の通行も可能である。橋牟礼川遺跡ではすでに６世紀代の馬骨が見つかっており、８世紀代の牛骨もあることから、家畜を使った農耕が行われていたことが想定できる。

高床式倉庫の柱穴群は、埋まりきらずに上面が浅く凹んでいた。また、プランの内側にも火山礫が堆積していたことから、噴火時点では、すでに建物がなかった可能性が高い。

北側の小道の脇には樹木痕跡が見られた。樹種の特定には至らなかったが、畠地を開墾する際、休憩用の木陰として残したものかもしれない。

今回の調査では課題も残った。

柵列跡は小道とほぼ平行に畝の端部の脇に設けられている。小動物による食害を防止するために設けられた柵の可能性が考えられるが、その際は、１本１本の杭（ピットの直径から杭と思われる）の間隔が10～20cm程度あるため、隙間を埋めなければ役割は果たせなし、畠地そのものを完全に囲まなければ機能しないであろう。

柵列の性格が何であったのか、今後検討する余地がある。また、畠そのものについても、畝間の端部に残された浅い凹みの役割は何であったのか、作物の収穫量はどの程度推定しうるのか、肥料はどうしていたのか、周辺で見つかっている畠地との関係、例えば休耕地があったのかなど、枚挙に暇がない。

現在、橋牟礼川遺跡は、調査地点を含め約4.2haが国指定史跡として保存されている。将来、こうした課題を解決するための学術調査も可能である。

橋牟礼川遺跡から北東約２kmのところにある敷領遺跡では、地中レーダ探査の結果、874 年の火山噴火で埋没した水田がレントゲン写真のように確認された。発掘調査の結果、地中レーダ探査の結果を追認し、さらに、復旧痕跡が確認されるなど注目すべき成果が得られている。

橋牟礼川遺跡でも同様の探査を実施すれば、畠地の構造や土地利用のあり方を把握できる可能性が極めて高いと考える。薩摩半島に班田収受が適用されたのは800年とされている。今回検出した畠地はそれから74年の姿を如実に伝えるもので、律令制度の浸透度合いを推測できる可能性もある。

さて、橋牟礼川遺跡ではこれまでのところ、厚く堆積した紫コラを除去した災害復旧の痕跡は見つかっていない。上位の４層から出土する遺物も10世紀代のもので、874年の開聞岳噴火で畠地も建物も埋没し、集落が廃棄された可能性が高いと見られている。一方、青コラの噴火の際には、今回、スコリア層をはさんで貝塚が継続して形成されていることが確認された。また、噴火の最中に長頸壺が溝状遺構内に置かれたことが確認されている。このことから、青コラ噴火時点では生活が継続されていた可能性が高い。

なお、今回は貝塚Ａ～Ｆの分析結果について報告できなかった。詳細については、平成27年度に刊行予定の橋牟礼川遺跡統括報告書に譲りたい。

第２節　古墳時代の遺構群と台付長頸壺を巡る諸問題について

古墳時代の調査では、土器捨て場、溝状遺構、貝塚等が検出された。

橋牟礼川遺跡ではこれまでもほかの地点から土器捨て場が検出されている。今回、検出された土器捨て場は、下水道敷設工事に先立ち調査したトレンチで検出されたものの縁辺部にあたるものと考えられる。

出土した土器には、甕形土器、鉢形土器、壺形土器、高坏、坩形土器、ミニチュア形土器がある。成川式土器の中でも甕形土器については、頸部から口縁部へ至る部位が、外反から直行へ、直行から内湾へと形式変化し、編年上での指標とされている。今回の調査及び下水道敷設に伴う調査でも、各形態の甕形土器が出土しているが、どの遺物も出土レベルに大きな差はなく、型式の違いがどの程度の時期差を示すものか判断できない。

溝状遺構については、検出された範囲が限られており、どういった役割を持つ遺構であるのか現段階では判然といない。ただ、幅や深さを見るとき、弥生の環濠のような防御的な機能が果たせたかどうかは疑問も残る。なお、溝状遺構の最下層にはスコリアがあり、その上位に火山灰の一次堆積層が観察されたことから、空堀のような状態であったものと推測される。今後、この溝状遺構が、古墳時代集落の中でどのように続くのかを見極めることが必要である。

今回、溝状遺構の中から台付長頸壺が出土した。出土状況から長頸壺は最初は直立した状態であったが、噴火の途中で倒れたものと見られる。長頸壺が日用品とは考えにくいため、例えば、噴火災害に対する祭祀で用いられた可能性も考慮しておきたい。

さて、本市の景色ヶ鼻遺跡の採集品に台付長頸壺の高台部があり、平成３年度、橋牟礼川遺跡から出土したほかの須恵器の破片とともに蛍光X線分析を行った。その結果、景色ヶ鼻遺跡の長頸壺は、陶邑領域に帰属するものであることが分かった。この結果を受け、下山は、今回出土した長頸壺も陶邑産の可能性が高いとみている。また、長頸壺がどのような経緯で指宿に搬入されたのかという点については、政治的な背景の中、もたらされたものであることは間違いなく、隼人の貢朝に対する朝廷からの下賜品の可能性も検討する必要性を示唆している。橋牟礼川遺跡では、初期須恵器も出土しており、指宿市内のほかの遺跡からも５世紀後半から６世紀代にかけての須恵器が出土している。橋牟礼川遺跡で出土した３点の須恵器と指宿高校校庭遺跡で出土した須恵器１点は、蛍光X線分析の結果、いずれも陶邑が推定産地との結果を得ている。下山の指摘のとおり、連綿と続く須恵器供給は、中央と指宿地域との政治的な関係を反映したものであろう。

長頸壺の意義については、すでに下山が論考しており、ここでは詳述しないが、長頸壺の時期については、今後、検討の余地が生まれる可能性もあるため若干触れておきたい。

下山は、TG－70で出土した台付長頸壺の年代観を参考に形式学的な検討を加えながら、今回出土した長頸壺の時期を７世紀の後半と位置づけた。この研究成果が、青コラ噴火の年代と指宿地域における成川式土器の下限の根拠となっている。

独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センターは、青コラ直下の腐植土壌の放射性炭素年代測定の結果、1580±40yBP の値を得たことから、青コラの噴火は1.6kaに発生したと考えられると報告しており、長頸壺の考古学的な年代観とはずれがある。また、下山は、今回、検出された土器捨て場から出土した須恵器坏蓋は、中村編年と対比すれば、Ⅱ型式４～６段階、中村の相対年代観によれば６世紀末から７世紀前半に位置づけられ、図53の笹貫式土器の壺も同時期であるとと述べている。

古墳時代の遺構群の形成は、土器捨て場が最初（笹貫式の壺と須恵器坏蓋も廃棄）で、その後貝塚Cが形成され、溝状遺構内への長頸壺の設置となる。これら遺構群の形成にどの程度時間がかかっているのか詳らかにはし得ないが、長頸壺を７世紀後半に位置づけた場合、笹貫式の壺と須恵器坏蓋の廃棄から長くておよそ１世紀、短ければほぼ同時期と見ることもでき、将来的な青コラに直接被覆された炭化物の放射性炭素年代測定の結果や長頸壺のさらなる形式学的な検討等で年代観が変わる可能性もある。

なお、橋牟礼川遺跡の学術成果については、平成27年度に大正年間から平成３年度までの調査成果概要をまとめた統括報告書として報告し、平成28年度以降、昭和61年度から平成３年度まで実施した区画整理事業に伴う報告書を２回にわけて刊行する予定である。

参考文献　下山　覚「指宿市橋牟礼川遺跡出土の須恵器台付長頸壺の年代比定について」『人類史研究』第８号
人類史研究会　1992年

写真図版

写真1　指宿市全景

写真2　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡空撮

写真3　調査区全景

写真4　道路部分調査区層位

写真6　側溝調査区層位

写真5　道路部分調査区層位

写真7　中世遺構群検出状況

写真8　中世土壙平面

写真9　874年３月25日に埋没した畠地の検出状況１

写真13　道跡検出状況

写真10　874年３月25日に埋没した畠地２

写真11　874年３月25日に埋没した畠地３

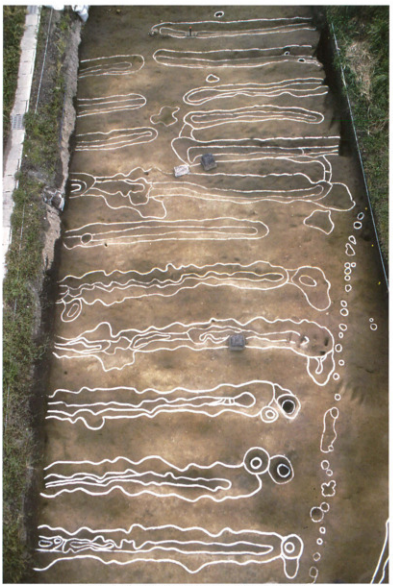


写真12　874年３月25日に埋没した畠地４

写真14　小石集石遺構

写真15　874年３月25日に埋没した畠地５

写真18　側溝調査区畝検出状況１

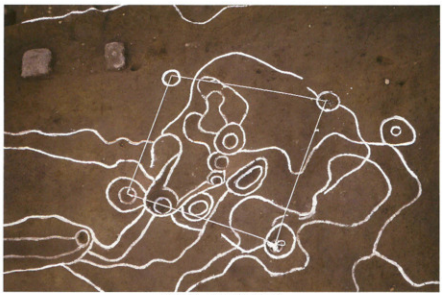


写真16　高床式倉庫跡

写真17　　側溝調査区畝検出状況２

写真19　貝塚A

写真20　貝塚B

写真21　古墳時代溝状遺構検出状況１

写真22　古墳時代溝状遺構検出状況２

写真23　長頸壺検出状況1

写真24　長頸壺検出状況2

写真25　№51壺形土器検出状況

写真26　古墳時代土器集中廃棄所検出状況

写真27　貝塚C

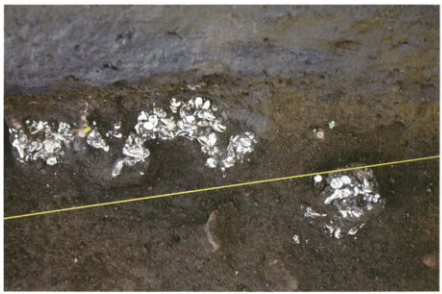


写真28　貝塚D

写真29　貝塚E

写真30　貝塚F

6-1

6-2

6-3

6-4

6-5

6-6

6-7

6-8

8-1

8-2

8-3

8-4

8-5

8-6

8-7

8-8

8-9

8-10

8-11

8-12

8-13

8-14

8-15

8-16

9-1

9-2

9-3

9-4

9-5

9-6

9-7

9-8

9-9

9-10

9-11

9-12

9-13

9-14

9-15

9-16

9-17

9-18

9-19

9-20

9-21

9-22

9-23

9-24

9-25

9-26

9-27

9-28

9-29

9-30

9-31

9-32

9-33

9-34

9-35

9-37

9-38

9-39

9-40

9-41

9-42

9-43

9-44

9-45

9-46

9-47

9-48

9-49

9-50

9-51

9-52

9-53

9-54

9-55

9-56

9-57

9-58

9-59

9-60

9-61

9-62

9-63

9-64

9-65

9-66

9-67

9-68

9-69

9-70

9-71

9-72

9-73

9-74

9-75

9-76

9-77

9-78

9-79

9-80

9-81

9-82

9-83

9-84

9-85

9-86

9-87

9-88

9-89

9-90

9-91

9-92

9-93

9-94

報告書抄録

ふりがな	はしむれがわいせき
書名	橋牟礼川遺跡
副書名	指宿駅西部土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書
巻次	-
シリーズ名	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	第53集
編著者名	渡部 徹也
編集機関	鹿児島県指宿市教育委員会（指宿市考古博物館 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ）
所在地	〒891-0403 鹿児島県指宿市十二町2290 TEL：0993-23-5100
発行年月日	平成26年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
橋牟礼川遺跡	鹿児島県指宿市十二町	46210				1991. 1.10～1991. 3.31 1991. 6. 7～1991.11.30	385㎡	土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
橋牟礼川遺跡	集落遺跡 火山災害遺跡	874年3月25日 古墳時代	874年3月25日の開聞岳噴火で埋没した畠地貝塚 古墳時代の土器集中廃棄所、溝状遺構、貝塚	成川式土器 須恵器台付長頸壺等	

指宿駅西部土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Vol.1

橋牟礼川遺跡

2014年３月

発　行
指宿市教育委員会
鹿児島県指宿市十二町2290

印刷所
潟上印刷株式会社
鹿児島市南栄3-1-6